

久山町新国富アンケート調査報告書

平成 29 年度 1 月

九州大学

工学府都市環境システム工学

馬奈木研究室

内容

1	アンケート調査の概要.....	7
1.1	調査の目的	7
1.2	調査手法	7
2	集計結果	9
2.1	個人属性に関する質問の集計結果.....	10
2.2	検診に関する質問の集計結果.....	19
2.3	重要だと思う機能に関する質問の集計結果.....	28
2.4	支払意思額に関する質問の集計結果.....	36
3	支払意思額を用いた新国富の計算結果.....	37
	(参考) 年齢別の支払意思額平均値をもとにした社会資本額内訳.....	43
4.	費用対効果比分析.....	46

図表目次

表 1	各支払意思額に関する質問回答結果.....	37
表 2	一人あたり支払意思額平均値×世帯数にける値.....	37
表 3	各資本の一人あたり支払意思額回答平均値（数値）.....	40
表 4	費用対効果比.....	46
図 1	【Q1】 居住地域 (N=1, 500).....	10
図 2	【Q2】 久山町の在住歴 (N=1, 492).....	11
図 3	【Q3】 回答者の年齢 (N=1461).....	11
図 4	【Q4-1】 回答者の最終学歴 (N=1, 260).....	12
図 5	【Q4-2】 回答者の両親（保護者等）のうち週学歴が高い人の最終学歴 (N=830)	12
図 6	【Q4-3】 配偶者・パートナー（いる場合のみ）最終学歴 (N=908).....	13
図 7	【Q5】 職業 (N=1, 484).....	14
図 8	【Q6】 業種 (N=1, 101).....	14
図 9	【Q7】 配偶者の有無 (N=1, 419).....	15
図 10	【Q8】 子供の有無 (N=1, 420).....	15
図 11	【Q9】 回答者の個人年収 (N=1, 385).....	16
図 12	【Q10】 回答者の世帯年収 (N=1, 385).....	16
図 13	【Q11】 世帯資産（現金・貴金属・預貯金・土地・株式・公社債・保険・不動産 含む） (N=163).....	17
図 14	【Q12】 世帯で負担しているローンや借金の総額 (N=621).....	17
図 15	【Q13】 昨年一年間のボランティア参加経験有無 (N=1, 408).....	18
図 16	【Q14】 現在の健康状態.....	19
図 17	【Q16】 健康維持のために一カ月あたりかける費用.....	20
図 18	【Q17】 今年度の久山町の健診受診有無 (N=1488).....	21
図 19	【Q17・年齢別】 今年度の久山町の健診受診有無 (N=1487).....	21
図 20	【Q18】（【Q17】で「はい」と答えた方のみ）受けた健診の種類（複数回答）	21
図 21	【Q18・年齢別】（【Q17】で「はい」と答えた方のみ）受けた健診の種類（複数 回答）.....	22
図 22	【Q19】（【Q17】で「はい」と答えた方のみ）健診を受けた理由.....	22
図 23	【Q19・年齢別】（【Q17】で「はい」と答えた方のみ）健診を受けた理由... 23	23
図 24	【Q20】（【Q17】で「はい」と答えた方のみ）健診による病気発見の有無 (N=1072)	23
図 25	【Q20・年齢別】（【Q17】で「はい」と答えた方のみ）健診による病気発見の有	

無 (N=1071)	24
図 26 【Q21】 (【Q17】で「はい」と答えた方のみ) 健診結果による生活の変化	24
図 27 【Q21・年齢別】 (【Q17】で「はい」と答えた方のみ) 健診結果による生活の変化	25
図 28 【Q22】 (【Q17】で「いいえ」と答えた方のみ) 健診を受けなかった理由	25
図 29 【Q22・年齢別】 (【Q17】で「いいえ」と答えた方のみ) 健診を受けなかった理由	26
図 30 【Q23】 健診が病気発見・早期治療・生活習慣改善に役立つと思うか(N=1400)	26
図 31 【Q23・年齢別】 健診が病気発見・早期治療・生活習慣改善に役立つと思うか(N=1399)	27
図 32 【Q25】 より多くの方が健診を受けるためにどうすれば良いと思うか	27
図 33 【Q25・年齢別】 より多くの方が健診を受けるためにどうすれば良いと思うか	28
図 34 【Q26】 子育て環境を作るうえで重要だと思う機能	28
図 35 【Q26・年齢別】 子育て環境を作るうえで重要だと思う機能	29
図 36 【Q30】 高齢者が活躍する町を作るために重要だと思う機能	29
図 37 【Q30・年齢別】 高齢者が活躍する町を作るために重要だと思う機能	29
図 38 【Q32】 医療・福祉ボランティアについて重要だと思う機能	30
図 39 【Q32・年齢別】 医療・福祉ボランティアについて重要だと思う機能	30
図 40 【Q34】 教育・スポーツ・文化活動について重要だと思う機能	31
図 41 【Q34・年齢別】 教育・スポーツ・文化活動について重要だと思う機能	31
図 42 【Q38】 公園・緑地について重要だと思う機能	32
図 43 【Q38・年齢別】 公園・緑地について重要だと思う機能	32
図 44 【Q40】 地域の公共交通について重要だと思う機能	33
図 45 【Q40・年齢別】 地域の公共交通について重要だと思う機能	33
図 46 【Q42】 消防団について重要だと思う機能	33
図 47 【Q42・年齢別】 消防団について重要だと思う機能	34
図 48 【Q44】 産業振興について重要だと思う機能	34
図 49 【Q44・年齢別】 産業振興について重要だと思う機能	35
図 50 支払意思額の度数分布	36
図 51 久山町の社会資本総額(全体平均値をもとに計算)	39
図 52 各資本の一人あたり支払意思額回答平均値(グラフ)	40
図 53 新事業への支払意思額合計	42
図 54 社会資本額(40歳未満の支払意思額平均値をもとに計算)	43
図 55 社会資本額(40歳以上65歳未満の支払意思額平均値をもとに計算)	44
図 56 社会資本額(65歳以上の支払意思額平均値をもとに計算)	45

1 アンケート調査の概要

1.1 調査の目的

本アンケート調査の目的は、行政サービスや地域の自然・伝統などの資源、または人や地域のつながり等、いわゆる社会関係資本を町民がどのように評価しているかを調査することである。特に、社会関係資本の金銭価値化を行うために、本アンケートでは仮想評価法に基づいて町民に各社会関係資本に対する支払意思額の質問を行った。この結果を用いて、本報告書の3章では、社会関係資本の金銭価値化を行った。

1.2 調査手法

本調査ではアンケート調査票を久山町内の約3,000世帯に配布し、合計1544世帯からの調査票を回収した。以下、配布したアンケート調査票の内容を(1)回答者属性に関する質問、(2)行政機能に関する質問、(3)その他に分けて説明する。

(1)回答者属性に関する質問（設問数13）

回答者属性について、以下の項目を尋ねた。

居住地域、町内在住年数、年齢、本人と家族の最終学歴、職業およびその業種、配偶者・子供の有無、個人・世帯の年収、世帯の資産・負債総額、1年以内のボランティア経験有無

(2)行政機能に関する質問（設問数35）

行政機能については、①健康促進、②子育て環境・施設の整備、③教育・スポーツ・文化活動の促進、④都市・生活環境づくり、⑤産業振興の5つの機能に分けて質問を行った。

設問の形式は主に二つである。一つ目は、ある特定の行政サービス（健診や保育所、消防団など）について、それが果たしている最も重要だと思う機能を単一回答で尋ねた。二つ目は、ある行政サービスについて支払意思額を問う質問を行った。支払意思額とは、ある行政サービスが失われるという仮想的な状態を想定したうえで、それを防ぐために世帯が一年間あたりに支払ってもよい額を尋ねている。回答は選択式形式で行い、11の選択肢（1,000円未満、1,000円、2,000円、3,000円、4,000円、5,000円、6,000円、7,000円、8,000円、9,000円、10,000円以上）から最も近い金額の選択肢の回答を求めた。

下表にて、5つの行政機能それぞれの設問項目をまとめる。

①健康促進

現在の状況に関する質問	健診に関する質問
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の健康状態とその理由 ・健康維持のためにかける費用（健康食品、サプリメント、健康器具、フィットネス、整体・マッサージ、定期健診） 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診した健診の種類 ・健診を受けた理由 ・健診による病気発見の有無 ・健診の受診による生活の変化 ・健診を受けなかった理由 ・健診が役に立つと思うか
重要だと思う機能に関する質問	支払意思額を問う質問
<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診者増加のために重要だと思うこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診一回の受診に対する支払い意思額

②子育て環境・施設の整備

重要だと思う機能に関する質問	支払意思額を問う質問
<ul style="list-style-type: none"> ・安心な子育て環境をつくるための機能 ・高齢者が活躍する町をつくるための機能 ・医療・福祉ボランティアの機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・久山町子育て支援センターの開所日が半分に減少 ・保育所入所定員人数が1割減少 ・居住地区の学童保育所施設の閉鎖 ・シルバー人材センターの閉鎖 ・医療・福祉ボランティア員の一人の減少

③教育・スポーツ・文化活動の促進

重要だと思う機能に関する質問	支払意思額を問う質問
<ul style="list-style-type: none"> ・教育、スポーツ、文化活動について、最も重要な機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツや文化活動実施施設の半分の減少 ・英語学習教育（グローバル人材育成事業）の開講日が半分に減少 ・高校生・大学生を対象とした、海外語学留学支援事業の定数が5人から3人に減少

④都市・生活環境づくり

重要だと思う機能に関する質問	支払意思額を問う質問
<ul style="list-style-type: none"> ・公園、緑地の最も重要な機能 ・公共交通手段がはたす最も重要な機能 ・消防団がはたす重要な機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公園・緑地が一つ減少 ・地域のバス運行本数が半分に減少 ・地域の消防団がなくなる

⑤産業振興

重要だと思う機能に関する質問	支払意思額を問う質問
<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興がはたす最も重要な機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会に対する補助金がなくなる ・耕作放棄地 1 ha の損失負担 ・耕作放棄地 1ha の再利用（共同農地、植林、ソーラーパネル、共同駐車場それぞれについて） ・久山町の PR ポスターや PR 動画の作成

(3)その他（設問数 1）

本アンケート調査の内容等に関する意見を自由記述式で尋ねた。

2 集計結果

本章では、アンケート設問項目の単純集計結果を、図表を用いて示す。

2.1 個人属性に関する質問の集計結果

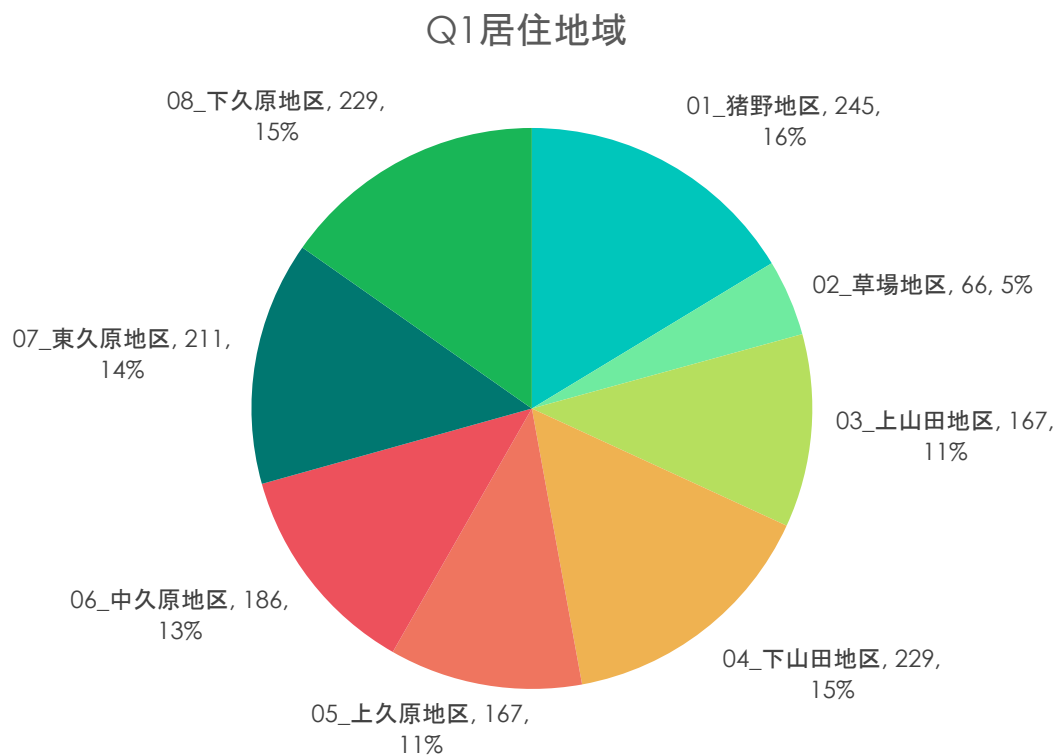


図 1 【Q1】居住地(N=1,500)

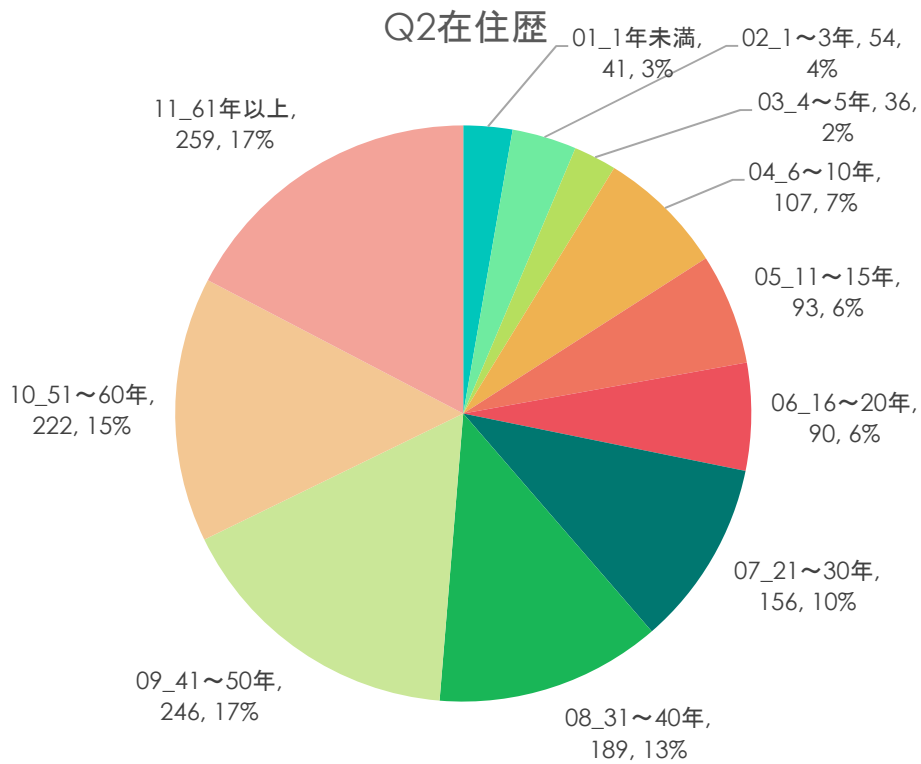


図 2 【Q2】久山町の在住歴(N=1,492)

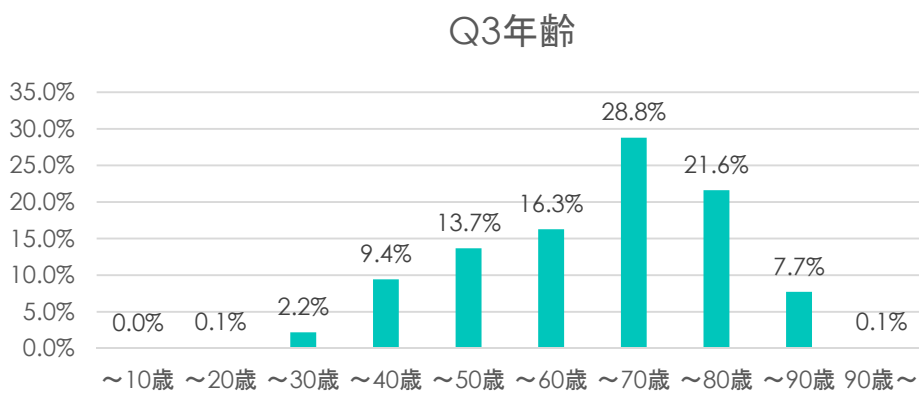


図 3 【Q3】回答者の年齢(N=1461)

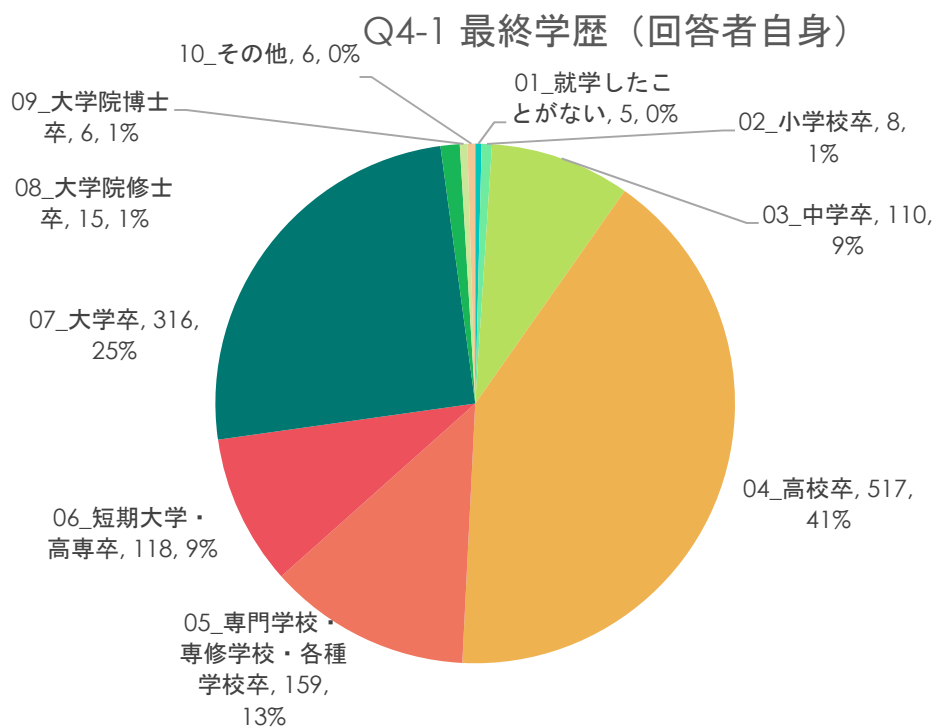


図 4 【Q4-1】回答者の最終学歴(N=1,260)

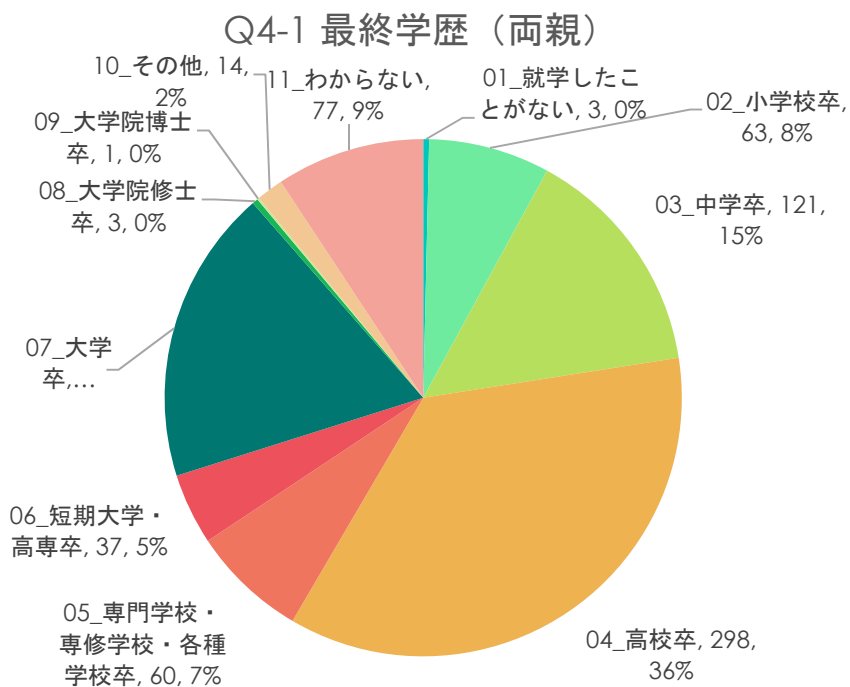


図 5 【Q4-2】回答者の両親（保護者等）のうち週学歴が高い人の最終学歴(N=830)

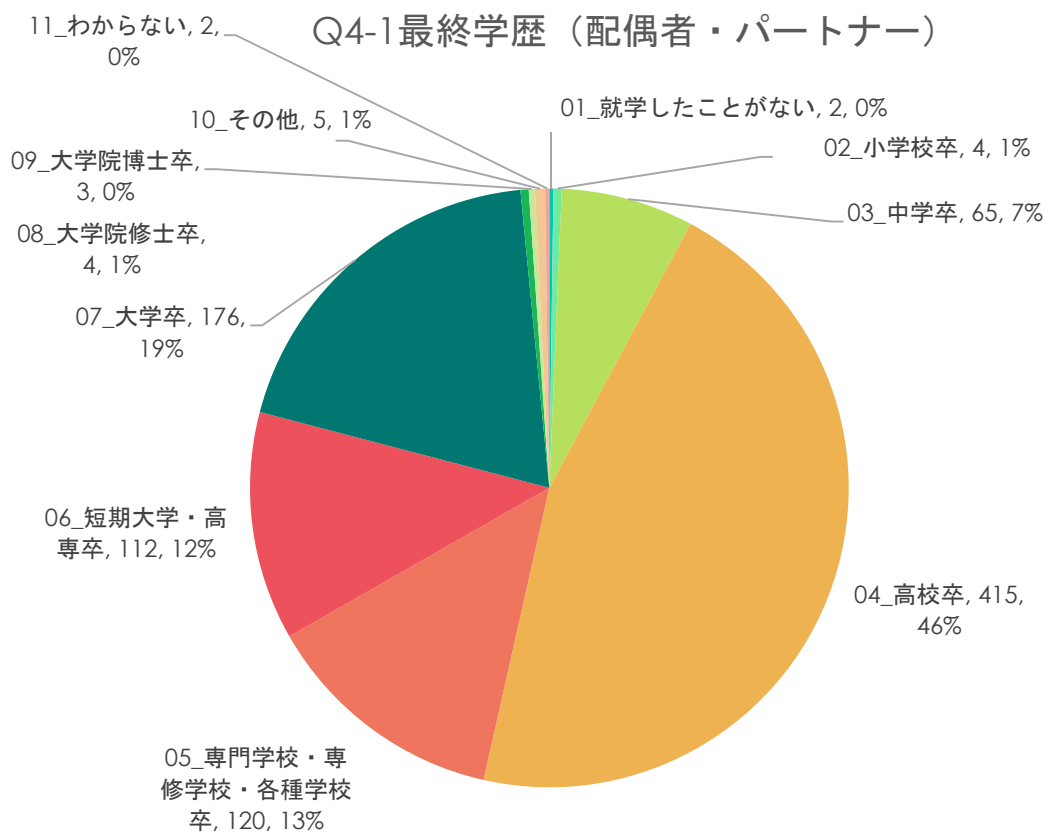


図 6 【Q4-3】 配偶者・パートナー（いる場合のみ）最終学歴(N=908)

Q5職業

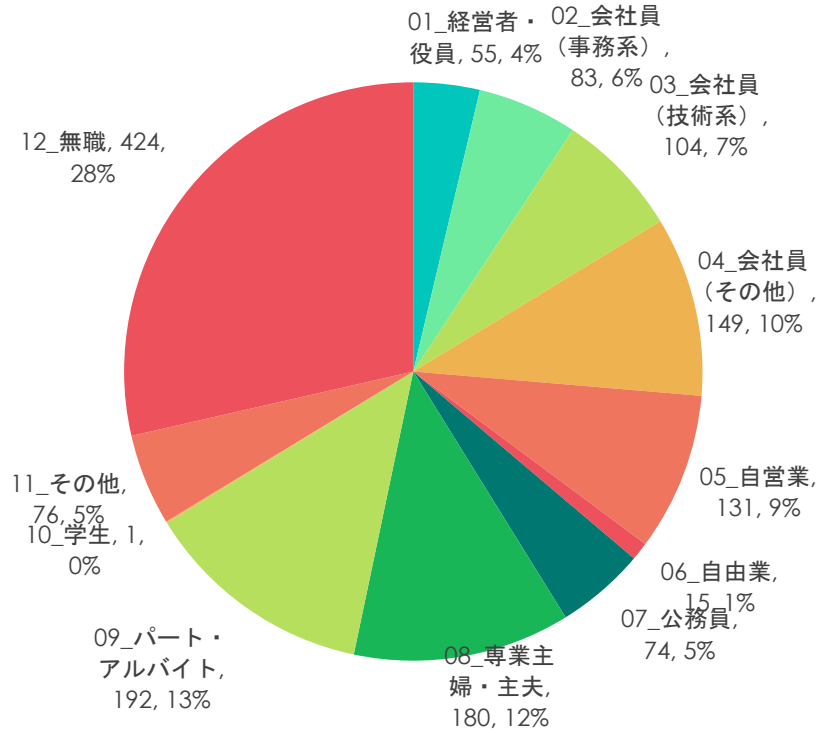


図 7 【Q5】 職業(N=1,484)

Q6業種

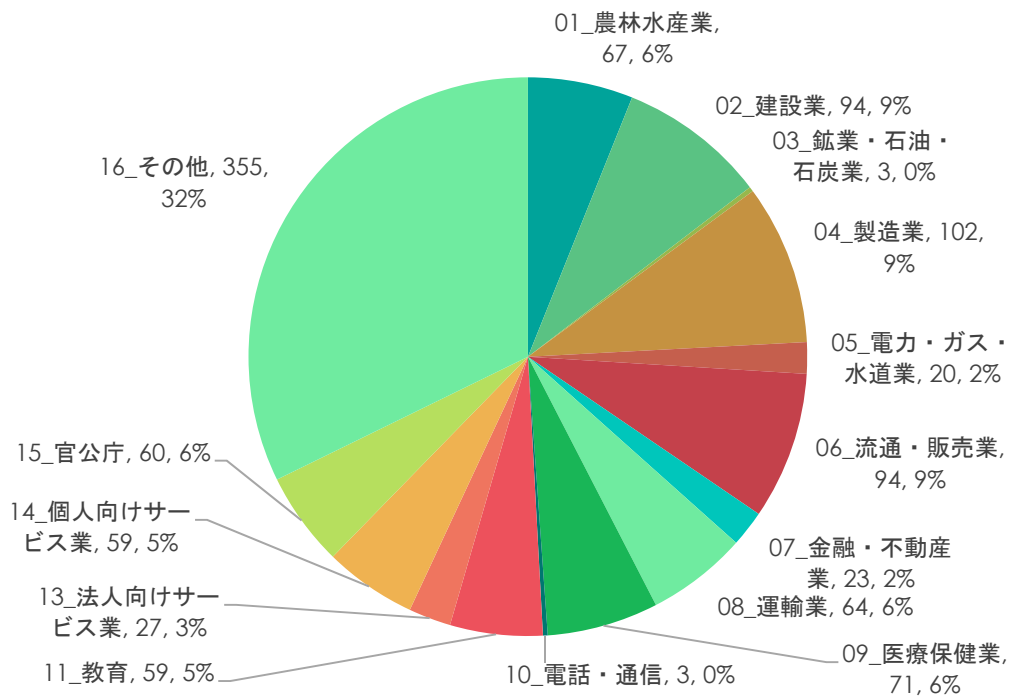


図 8 【Q6】 業種(N=1,101)

Q7配偶者有無

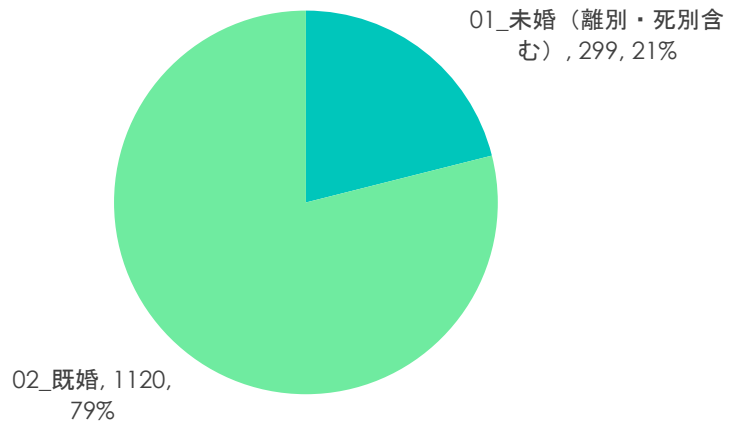


図 9 【Q7】 配偶者の有無 (N=1, 419)

Q8子供の有無

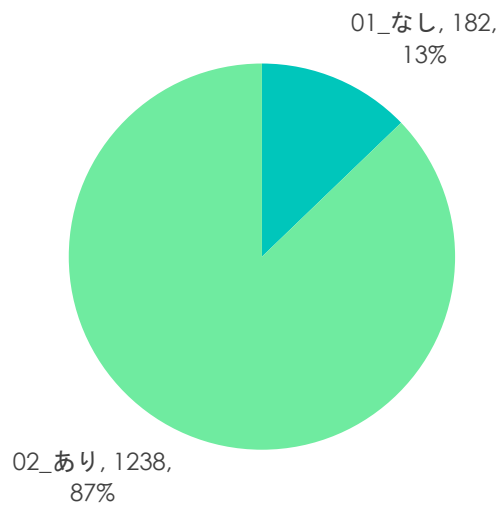


図 10 【Q8】 子供の有無 (N=1, 420)

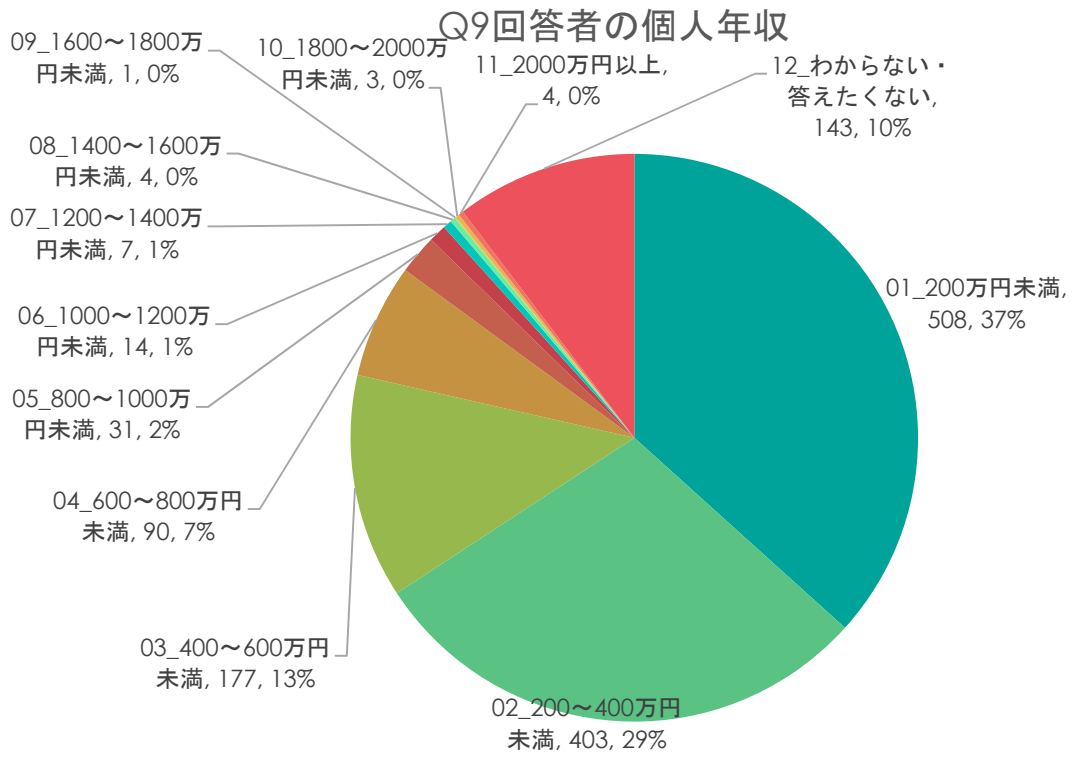


図 11 【Q9】 回答者の個人年収 (N=1, 385)

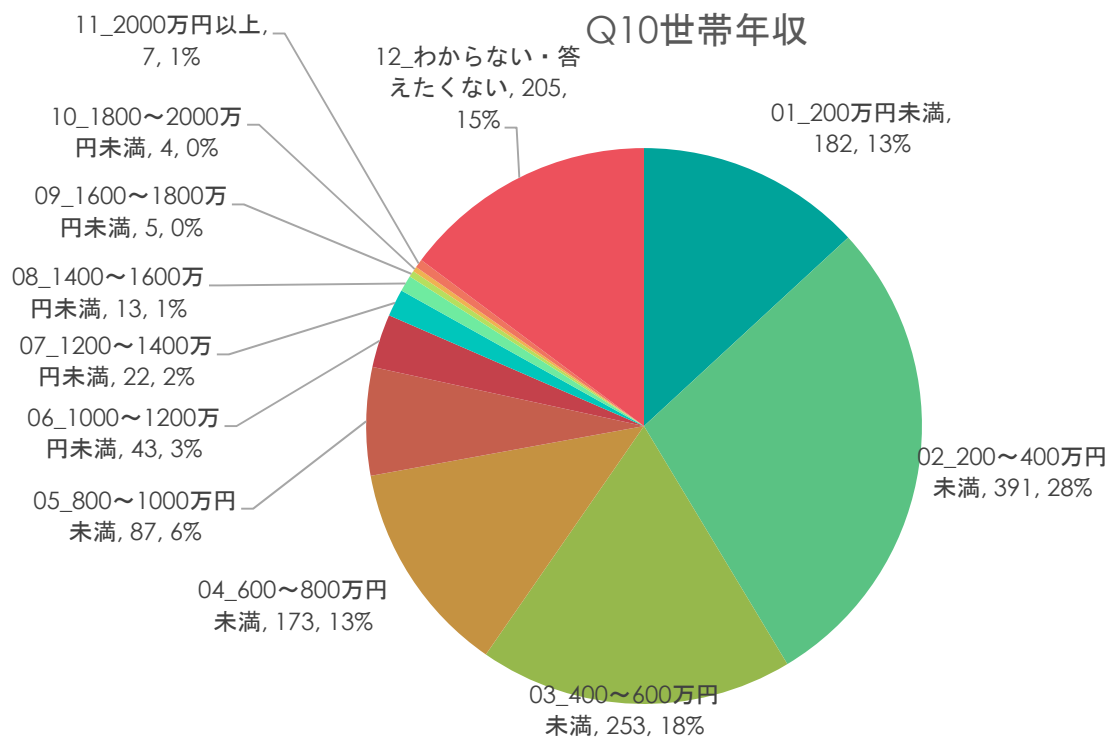


図 12 【Q10】 回答者の世帯年収 (N=1, 385)

Q11世帯資産

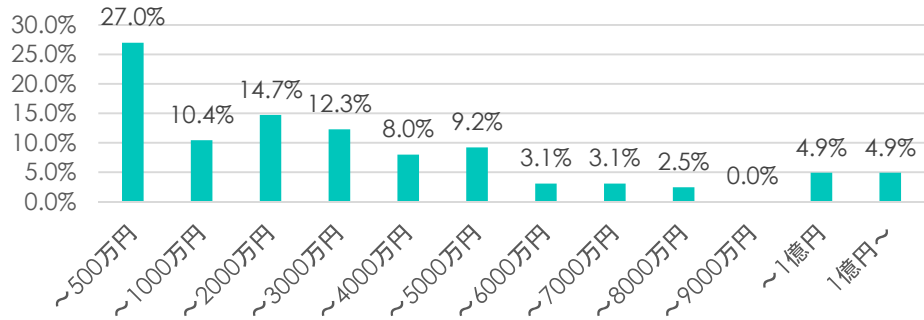


図 13 【Q11】 世帯資産（現金・貴金属・預貯金・土地・株式・公社債・保険・不動産含む）(N=163)

Q12世帯負債

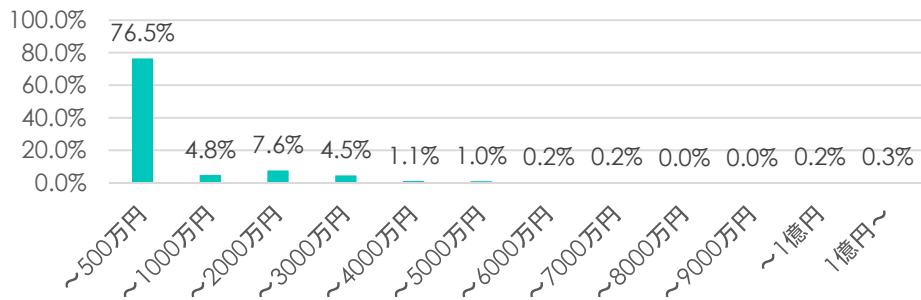


図 14 【Q12】 世帯で負担しているローンや借金の総額(N=621)

Q13ボランティア参加経験の有無

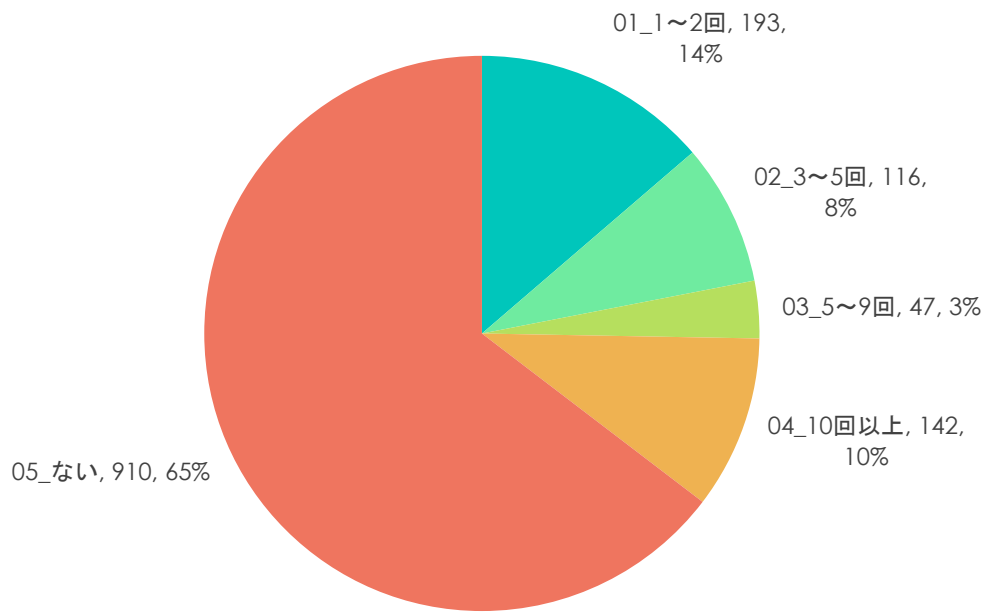


図 15 【Q13】 昨年一年間のボランティア参加経験有無 (N=1, 408)

2.2 検診に関する質問の集計結果

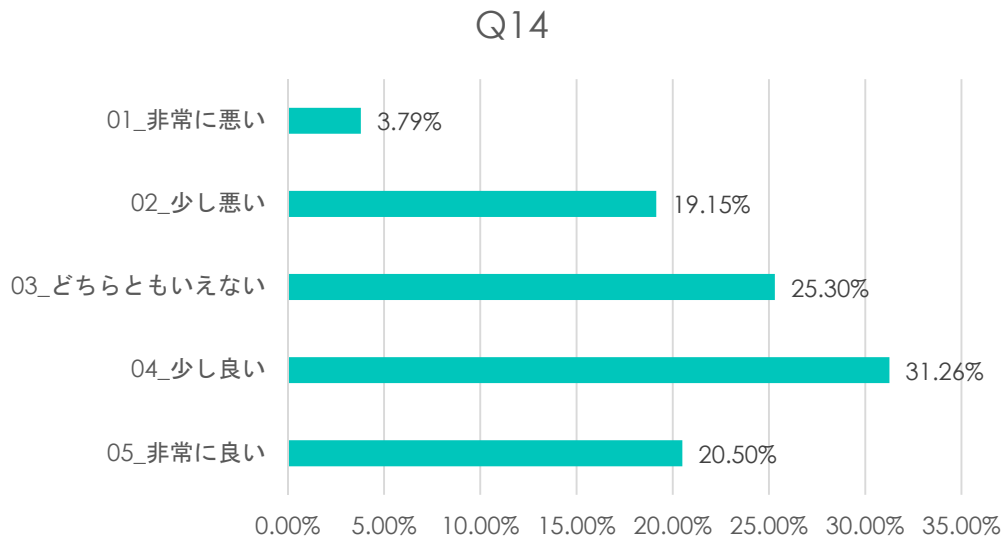
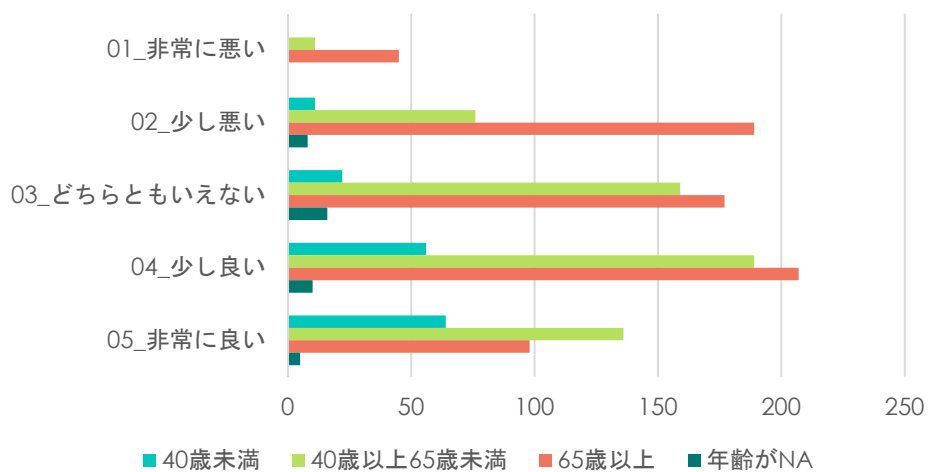


図 16 【Q14】 現在の健康状態



Q16

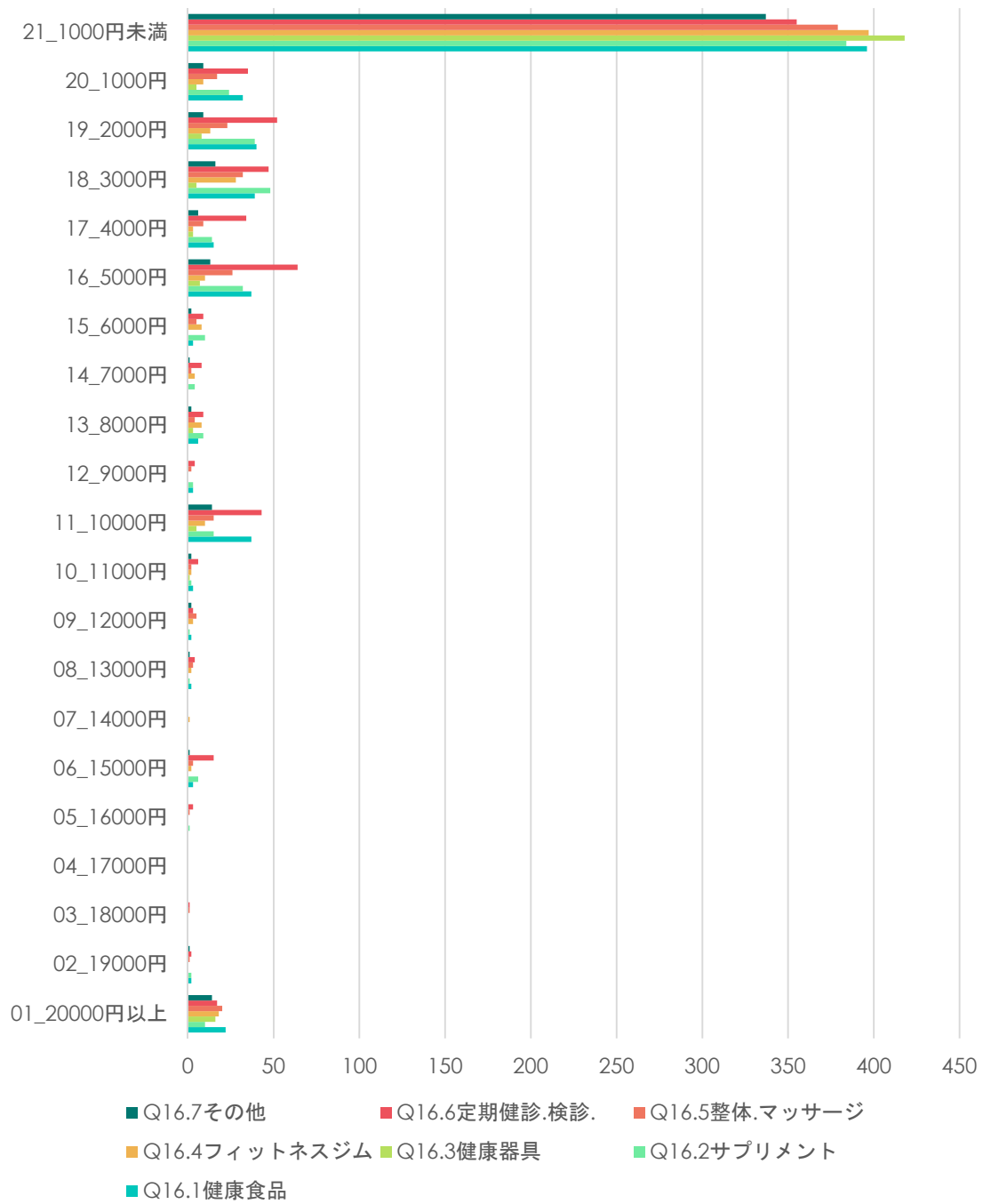


図 17 【Q16】 健康維持のために一カ月あたりかける費用

Q17

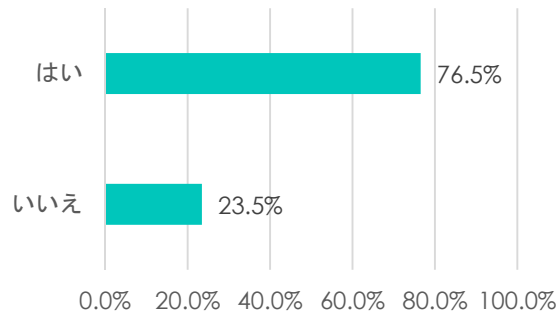


図 18 【Q17】 今年度の久山町の健診受診有無(N=1488)

Q17

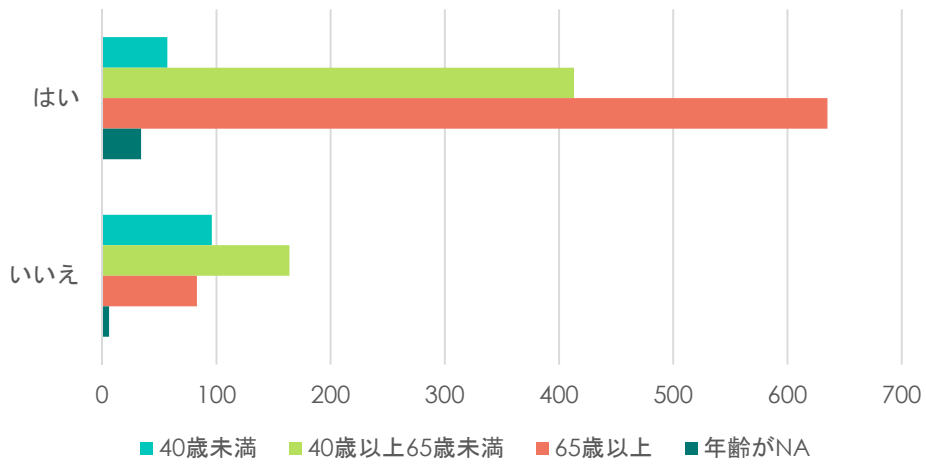


図 19 【Q17・年齢別】 今年度の久山町の健診受診有無(N=1487)

Q18

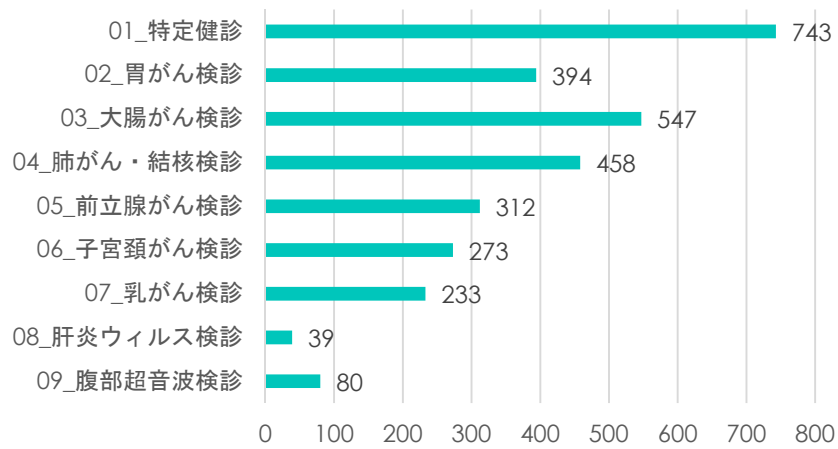


図 20 【Q18】 (【Q17】で「はい」と答えた方のみ) 受けた健診の種類(複数回答)

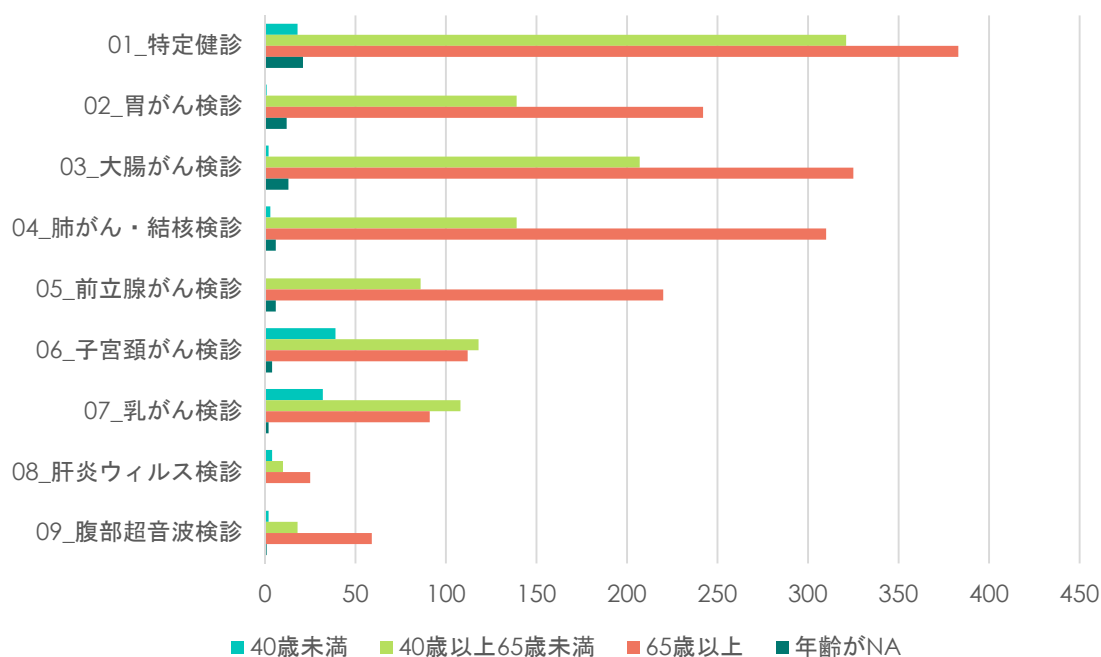


図 21 【Q18・年齢別】（【Q17】で「はい」と答えた方のみ）受けた健診の種類（複数回答）

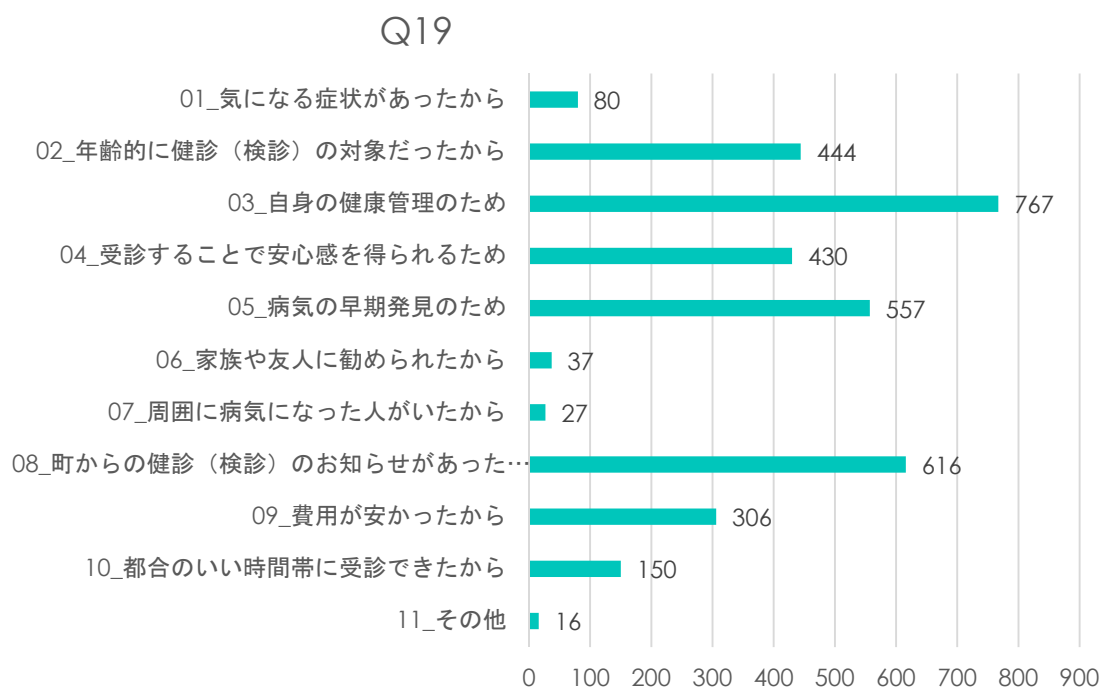


図 22 【Q19】（【Q17】で「はい」と答えた方のみ）健診を受けた理由

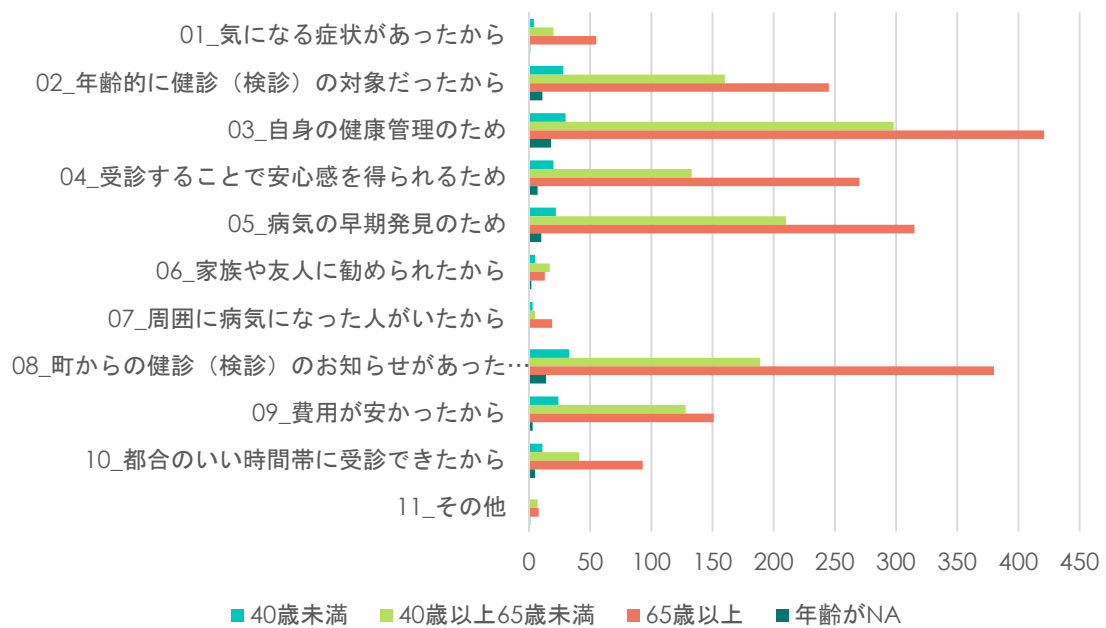


図 23 【Q19・年齢別】（【Q17】で「はい」と答えた方のみ）健診を受けた理由

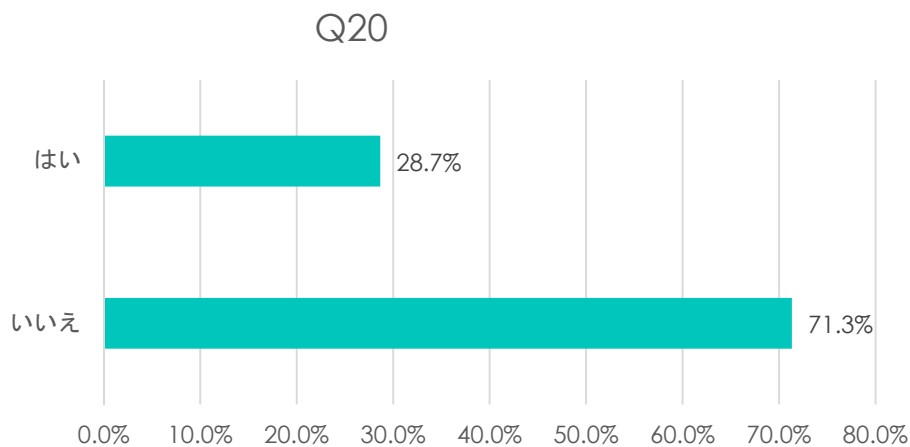


図 24 【Q20】（【Q17】で「はい」と答えた方のみ）健診による病気発見の有無 (N=1072)

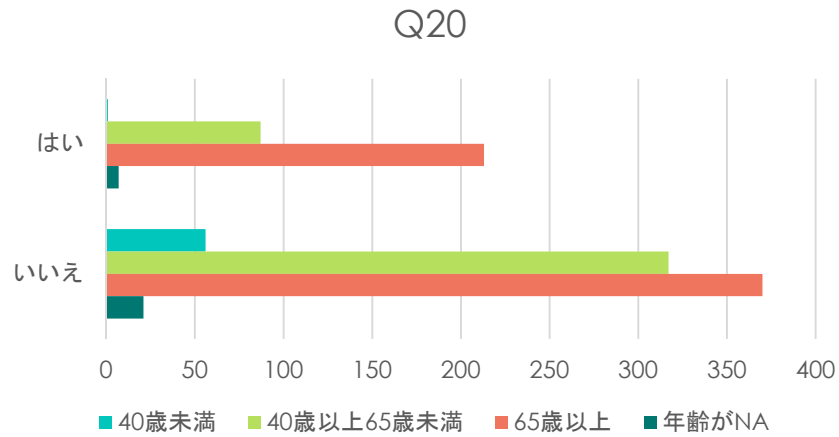


図 25 【Q20・年齢別】（【Q17】で「はい」と答えた方のみ）健診による病気発見の有無 (N=1071)

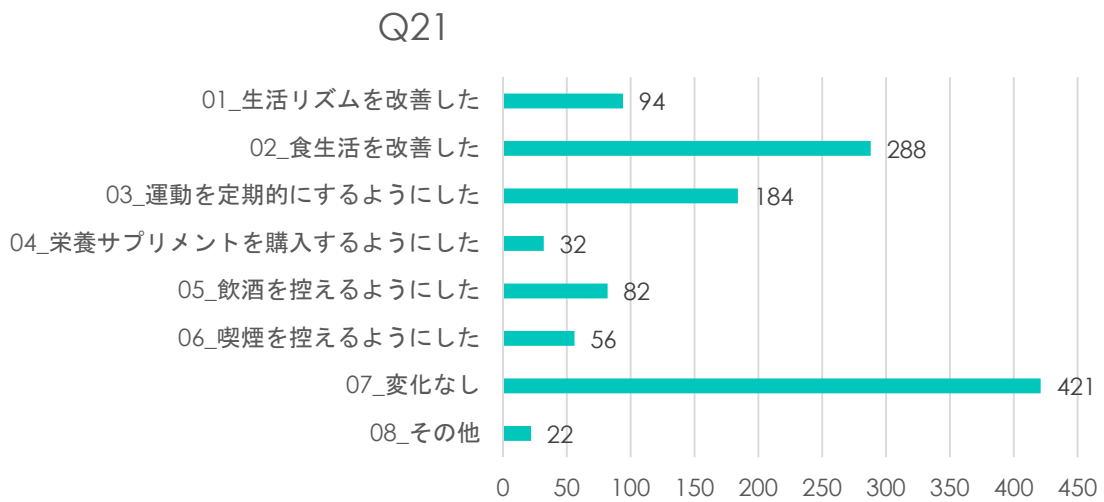


図 26 【Q21】（【Q17】で「はい」と答えた方のみ）健診結果による生活の変化

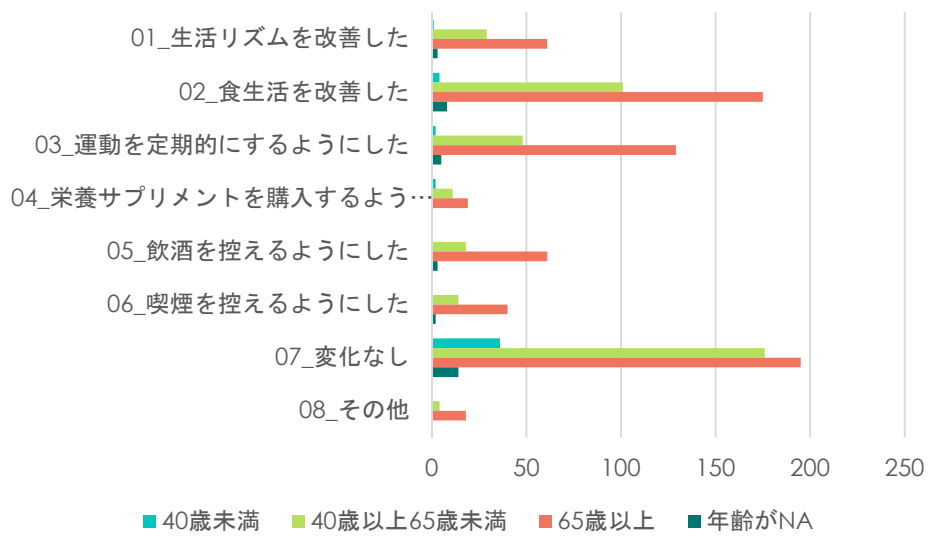


図 27 【Q21・年齢別】（【Q17】で「はい」と答えた方のみ）健診結果による生活の変化

Q22

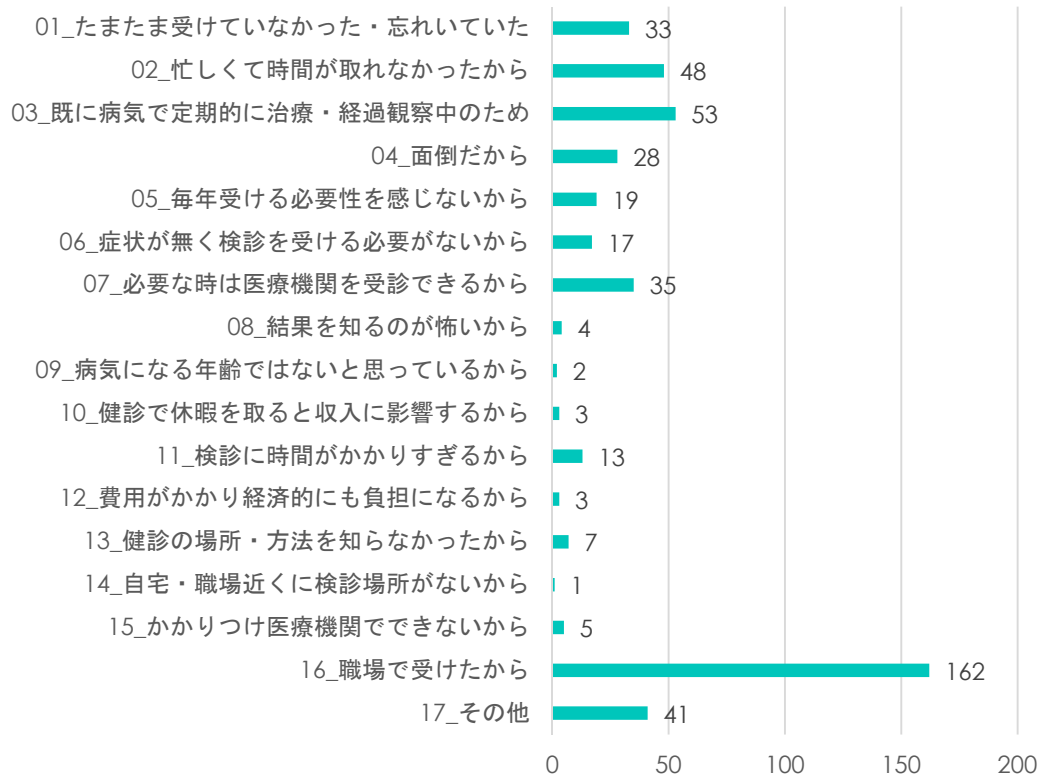


図 28 【Q22】（【Q17】で「いいえ」と答えた方のみ）健診を受けなかった理由

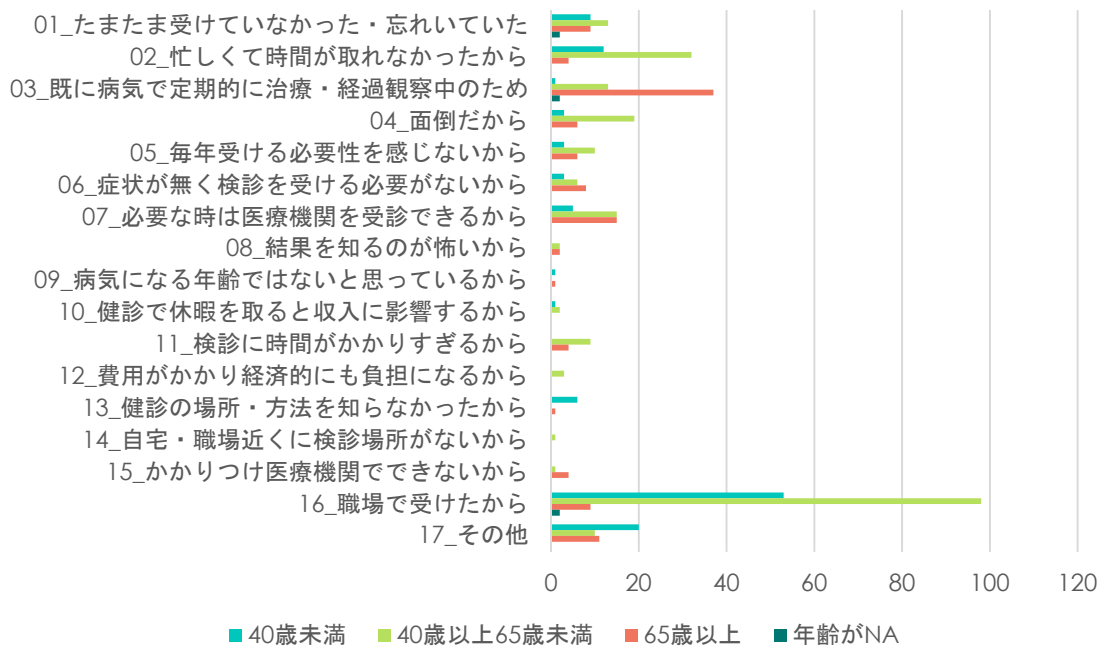


図 29 【Q22・年齢別】（【Q17】で「いいえ」と答えた方のみ）健診を受けなかった理由

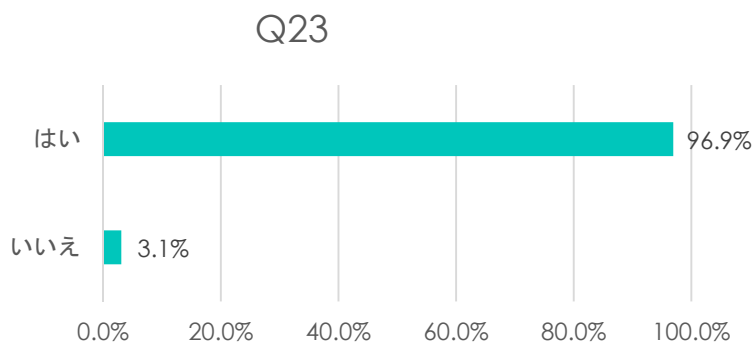


図 30 【Q23】 健診が病気発見・早期治療・生活習慣改善に役立つと思うか(N=1400)

Q23

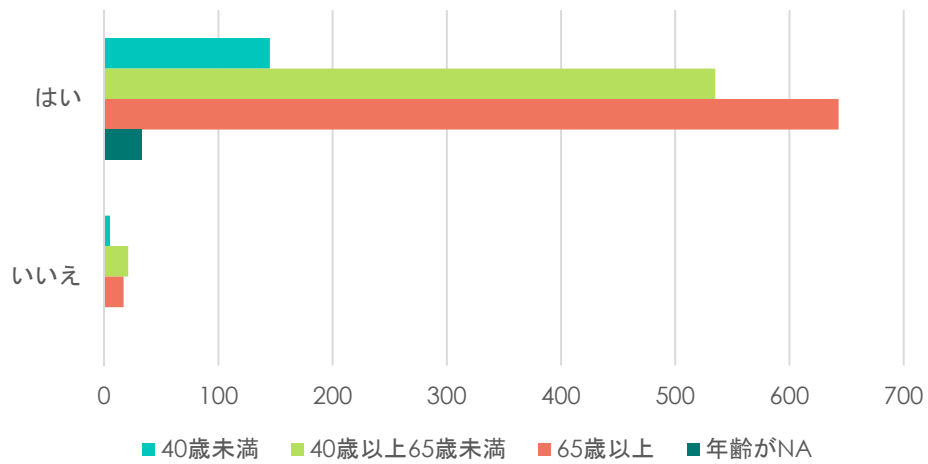


図 31 【Q23・年齢別】 健診が病気発見・早期治療・生活習慣改善に役立つと思うか (N=1399)

Q25

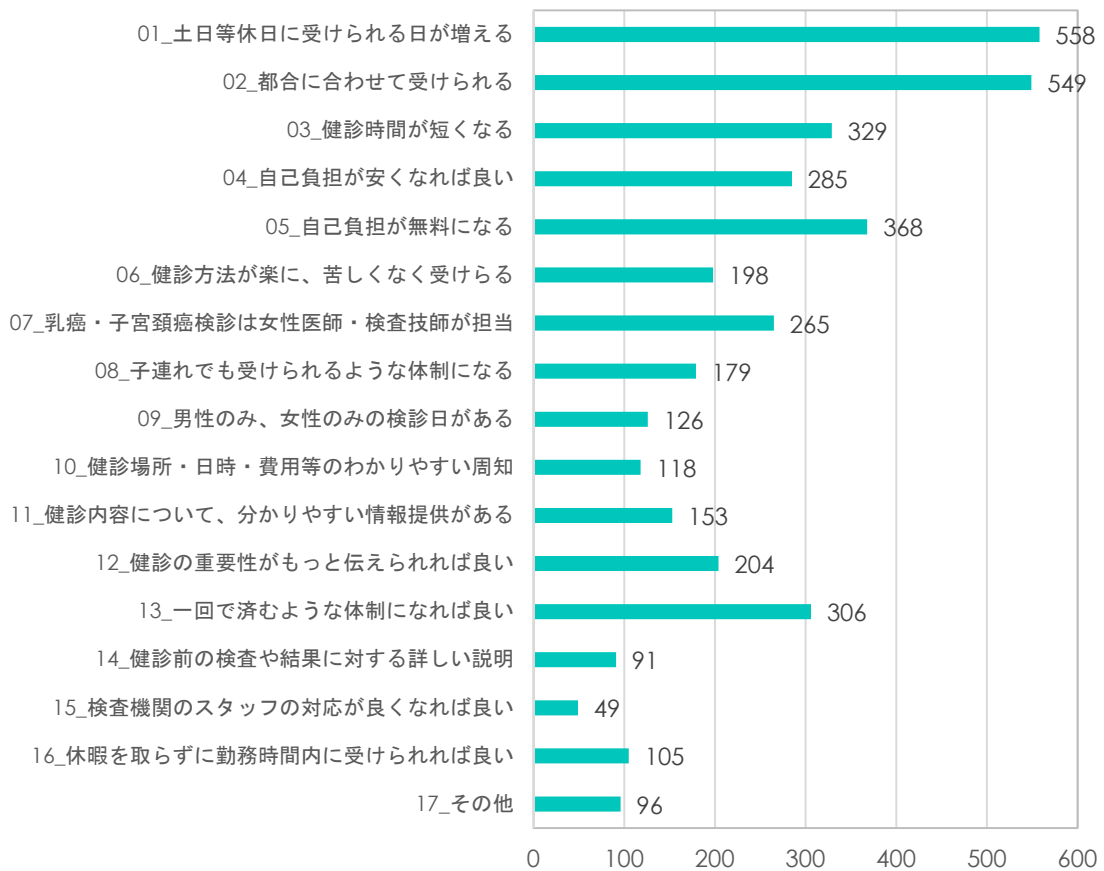


図 32 【Q25】 より多くの人が健診を受けるためにどうすれば良いと思うか

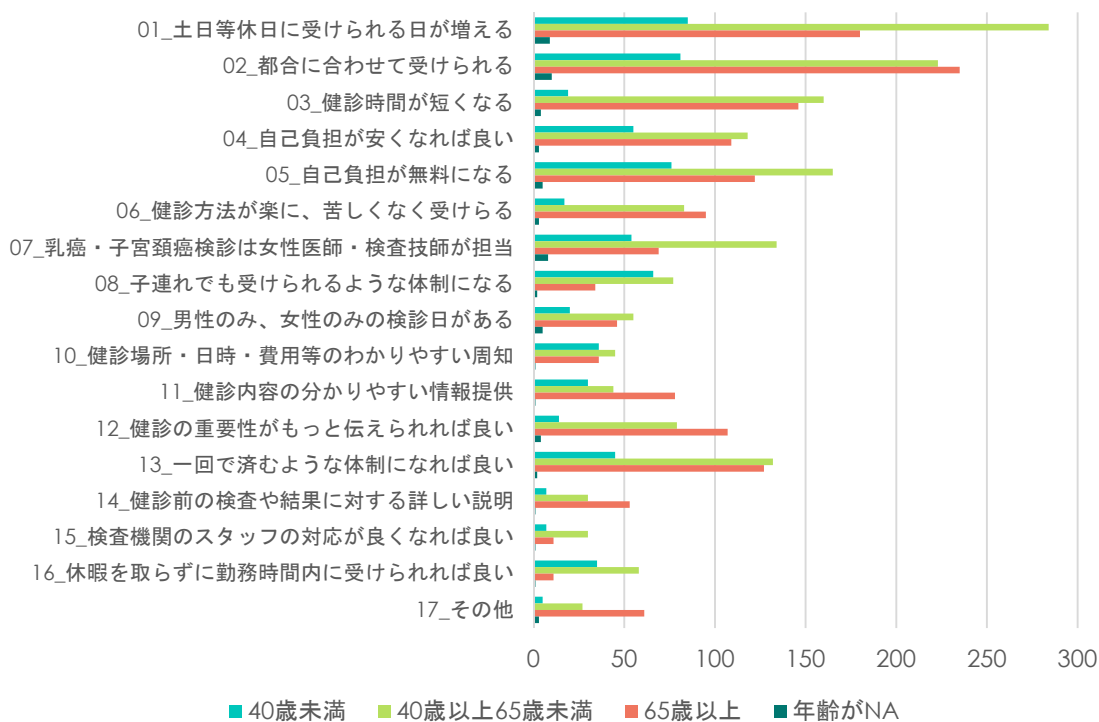


図 33 【Q25・年齢別】より多くの方が健診を受けるためにどうすれば良いと思うか

2.3 重要だと思う機能に関する質問の集計結果

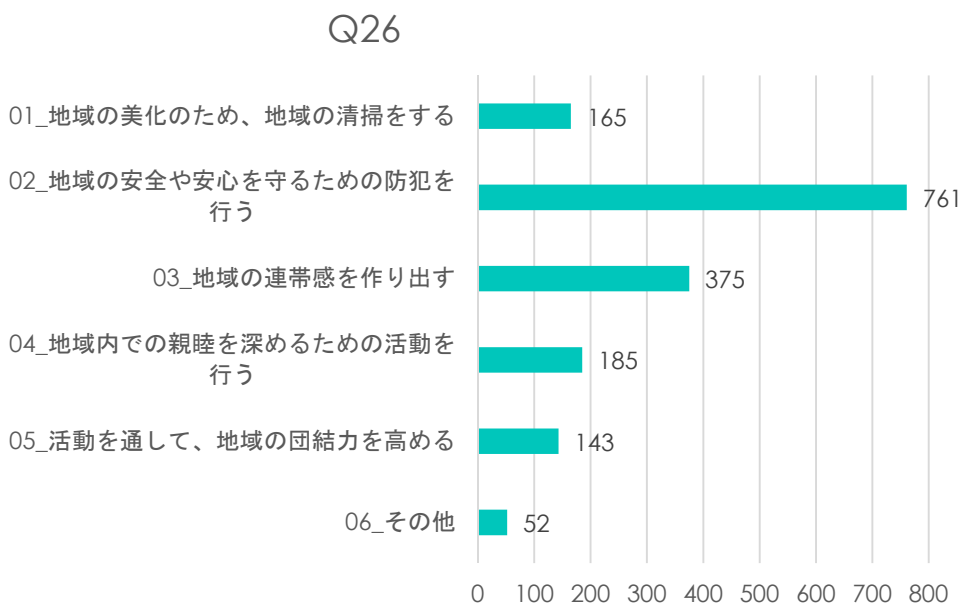


図 34 【Q26】子育て環境を作るうえで重要だと思う機能

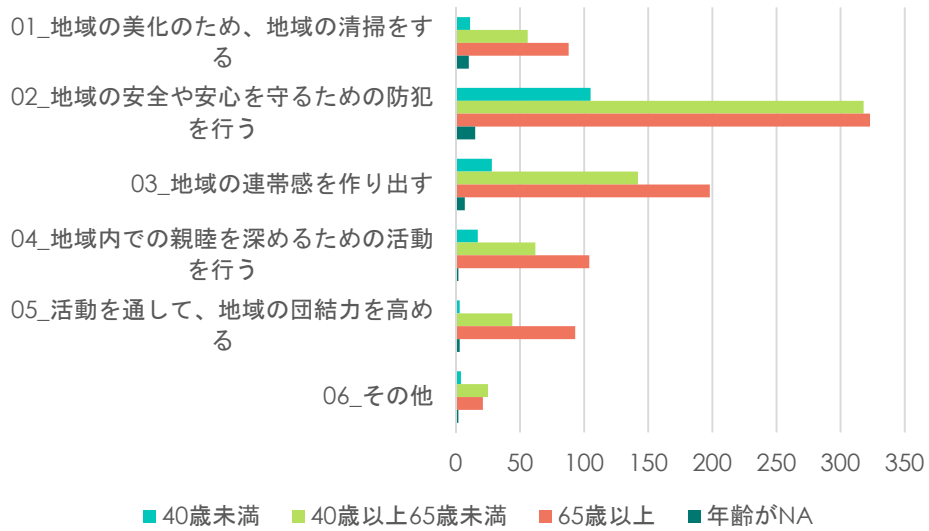


図 35 【Q26・年齢別】子育て環境を作るうえで重要だと思う機能

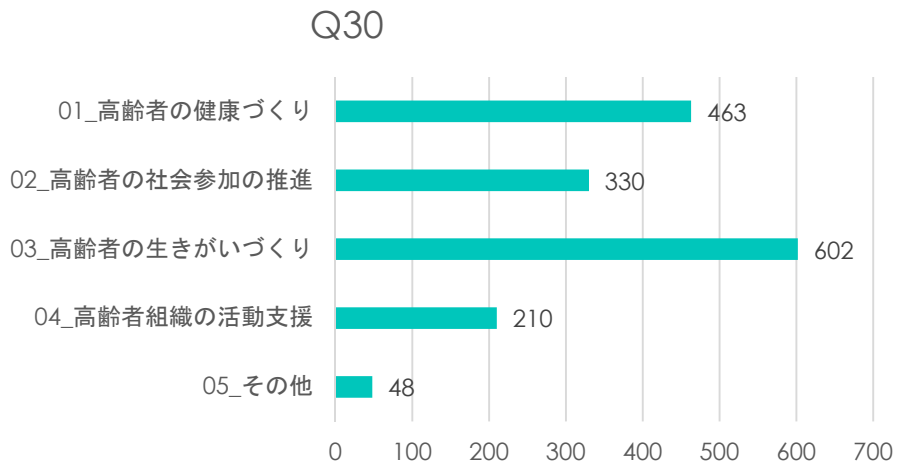


図 36 【Q30】高齢者が活躍する町を作るために重要だと思う機能

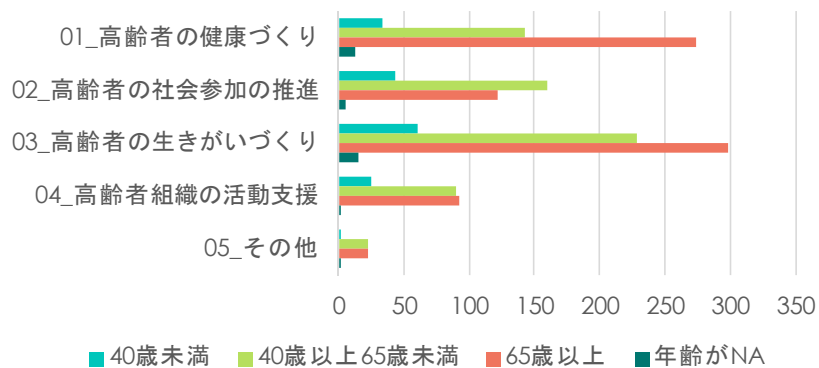


図 37 【Q30・年齢別】高齢者が活躍する町を作るために重要だと思う機能

Q32

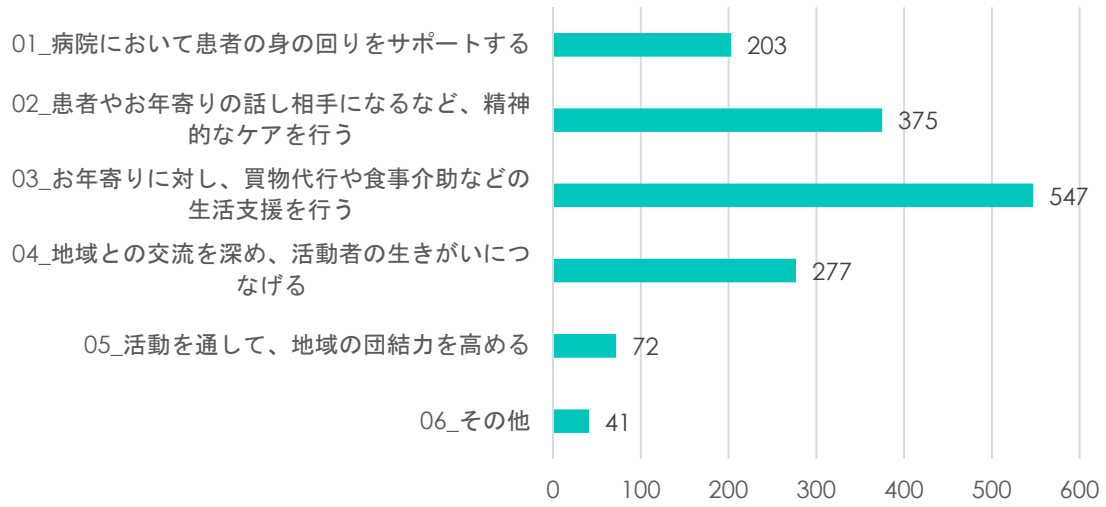


図 38 【Q32】医療・福祉ボランティアについて重要だと思う機能

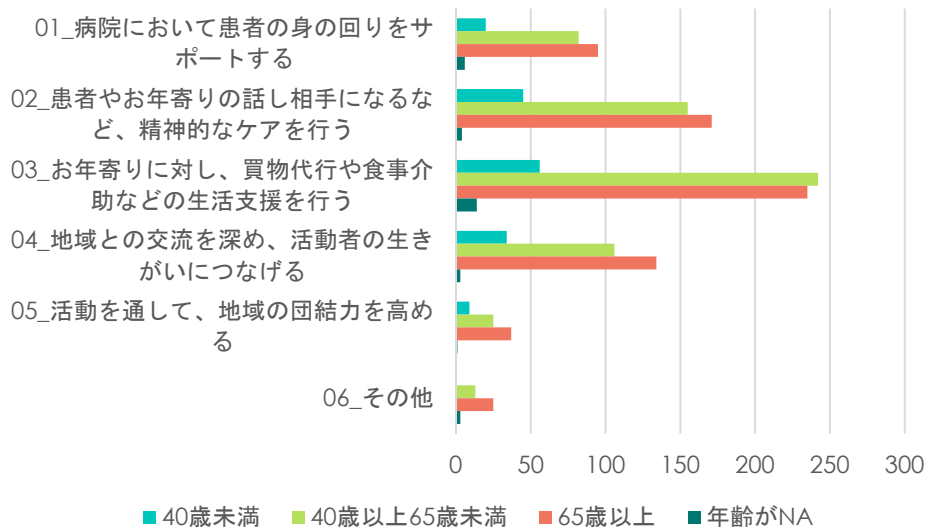


図 39 【Q32・年齢別】医療・福祉ボランティアについて重要だと思う機能

Q34

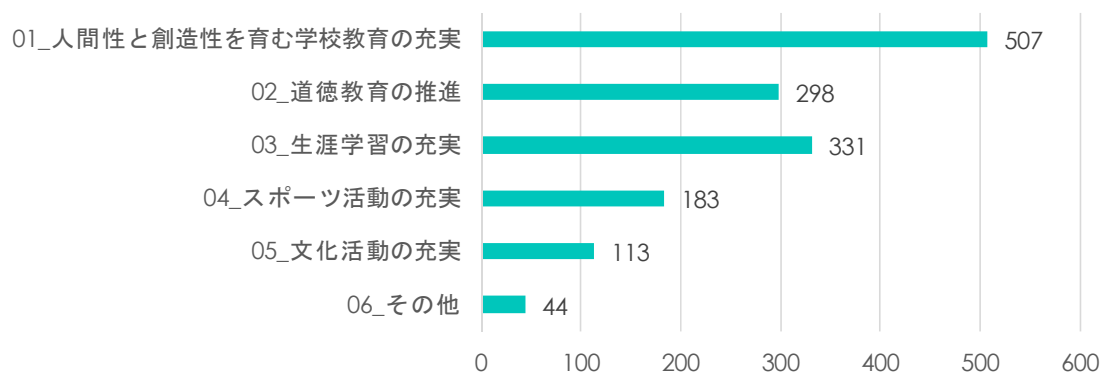


図 40 【Q34】 教育・スポーツ・文化活動について重要だと思う機能

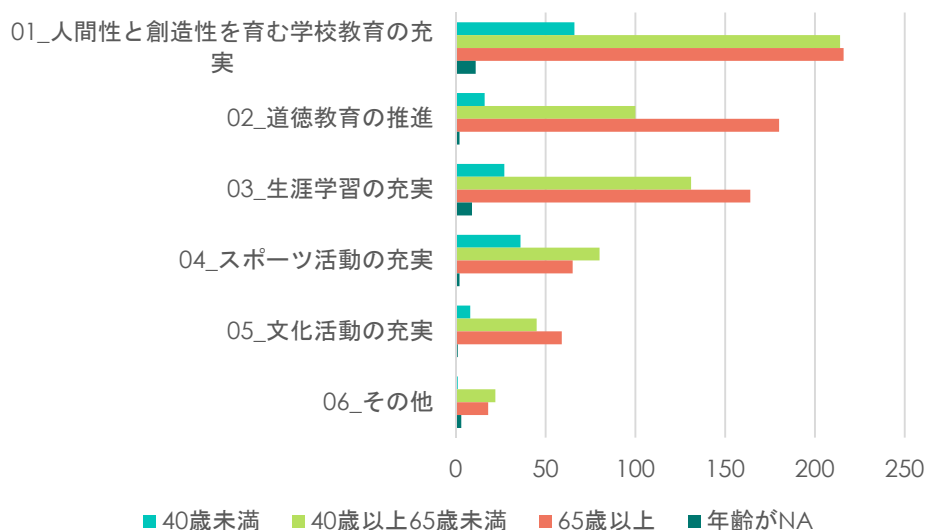


図 41 【Q34・年齢別】 教育・スポーツ・文化活動について重要だと思う機能

Q38

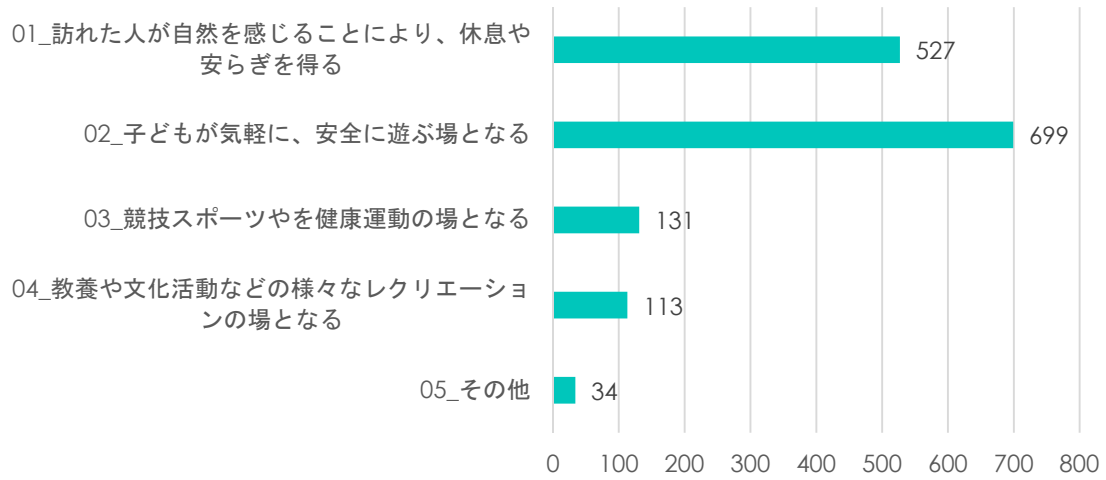


図 42 【Q38】公園・緑地について重要だと思う機能

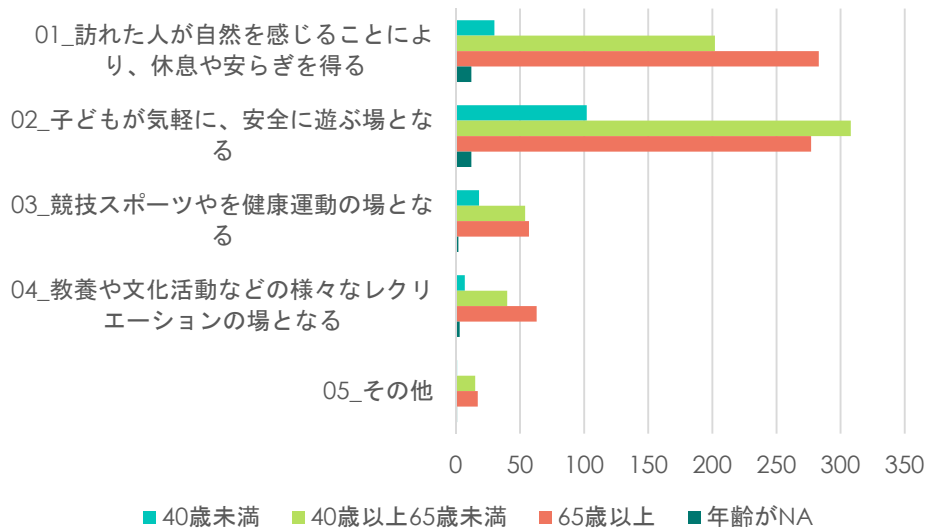


図 43 【Q38・年齢別】公園・緑地について重要だと思う機能

Q40

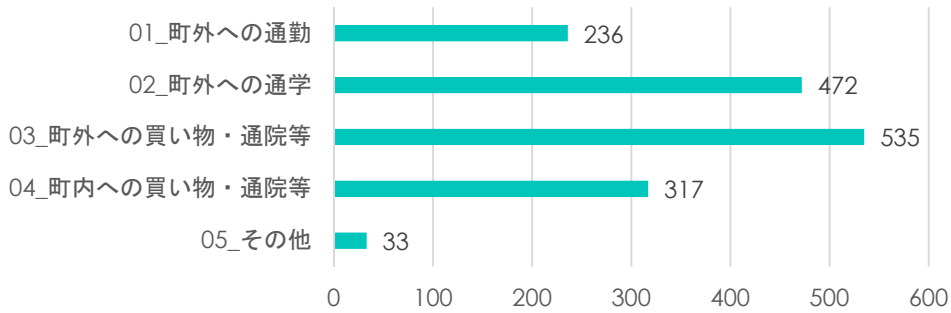


図 44 【Q40】地域の公共交通について重要だと思う機能

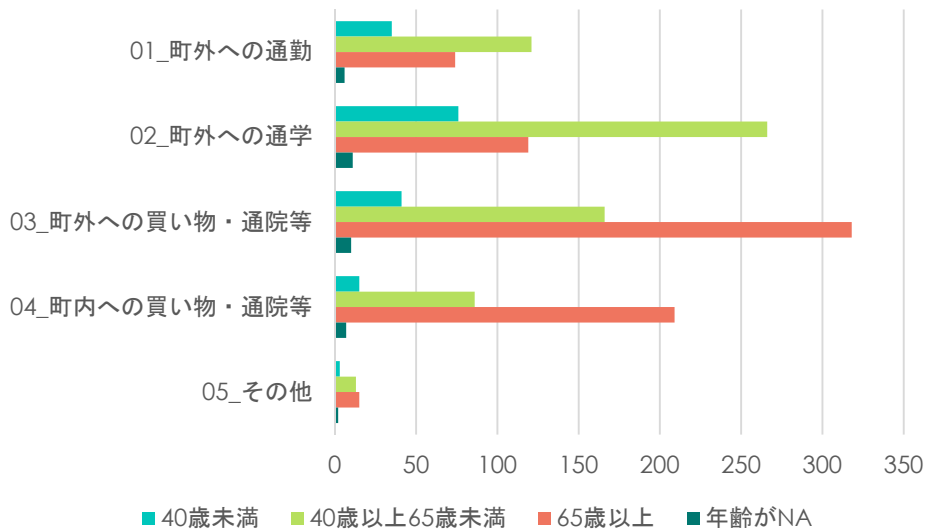


図 45 【Q40・年齢別】地域の公共交通について重要だと思う機能

Q42

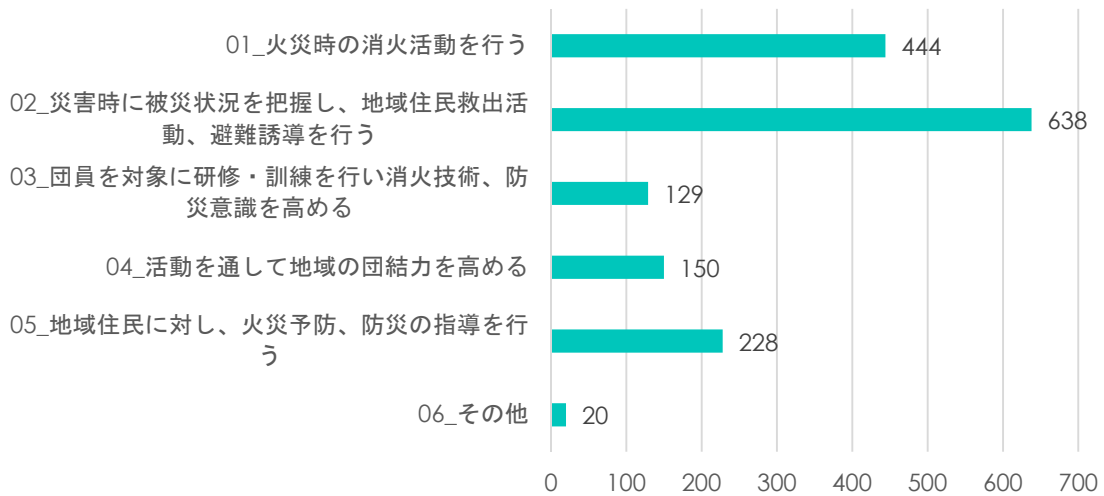


図 46 【Q42】消防団について重要だと思う機能

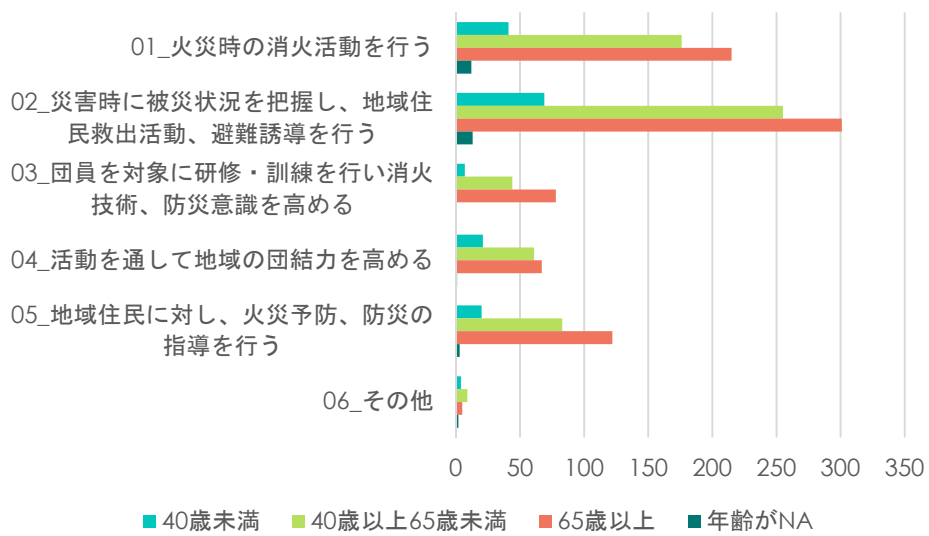


図 47 【Q42・年齢別】消防団について重要だと思う機能

Q44

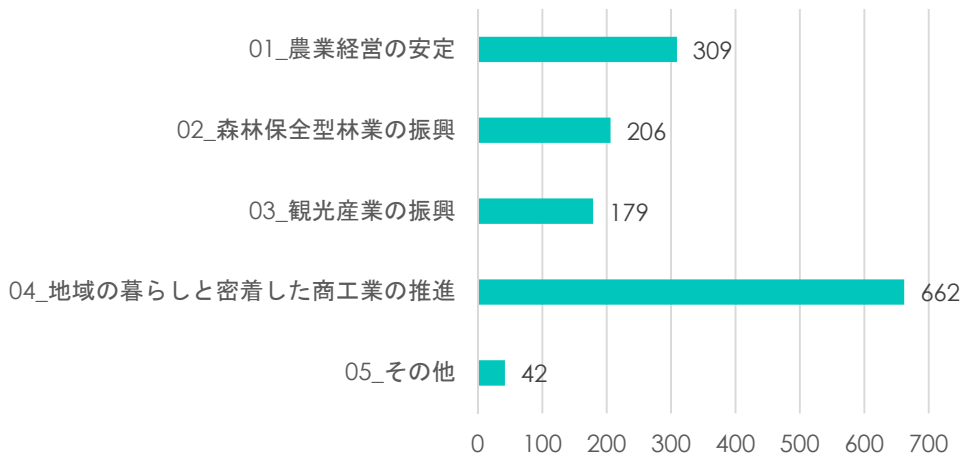


図 48 【Q44】産業振興について重要だと思う機能

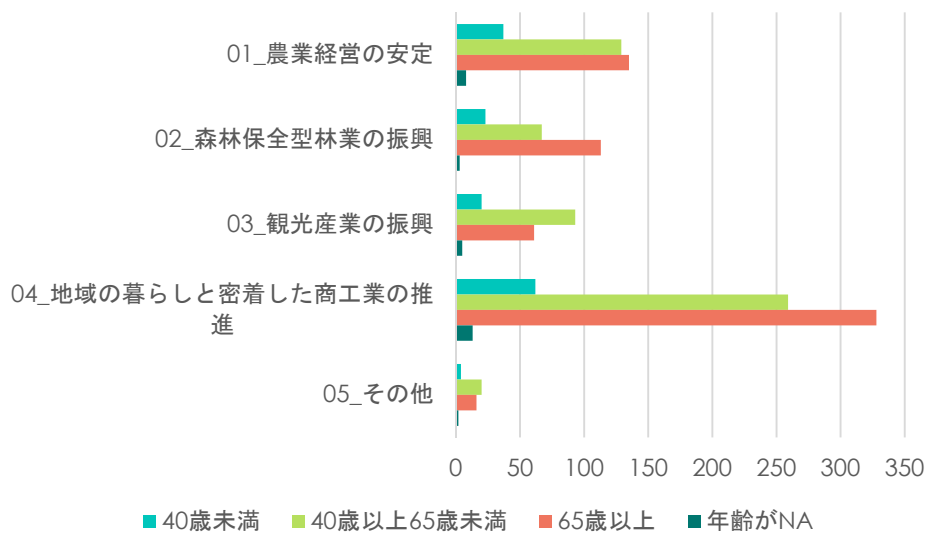


図 49 【Q44・年齢別】産業振興について重要だと思う機能

2.4 支払意思額に関する質問の集計結果

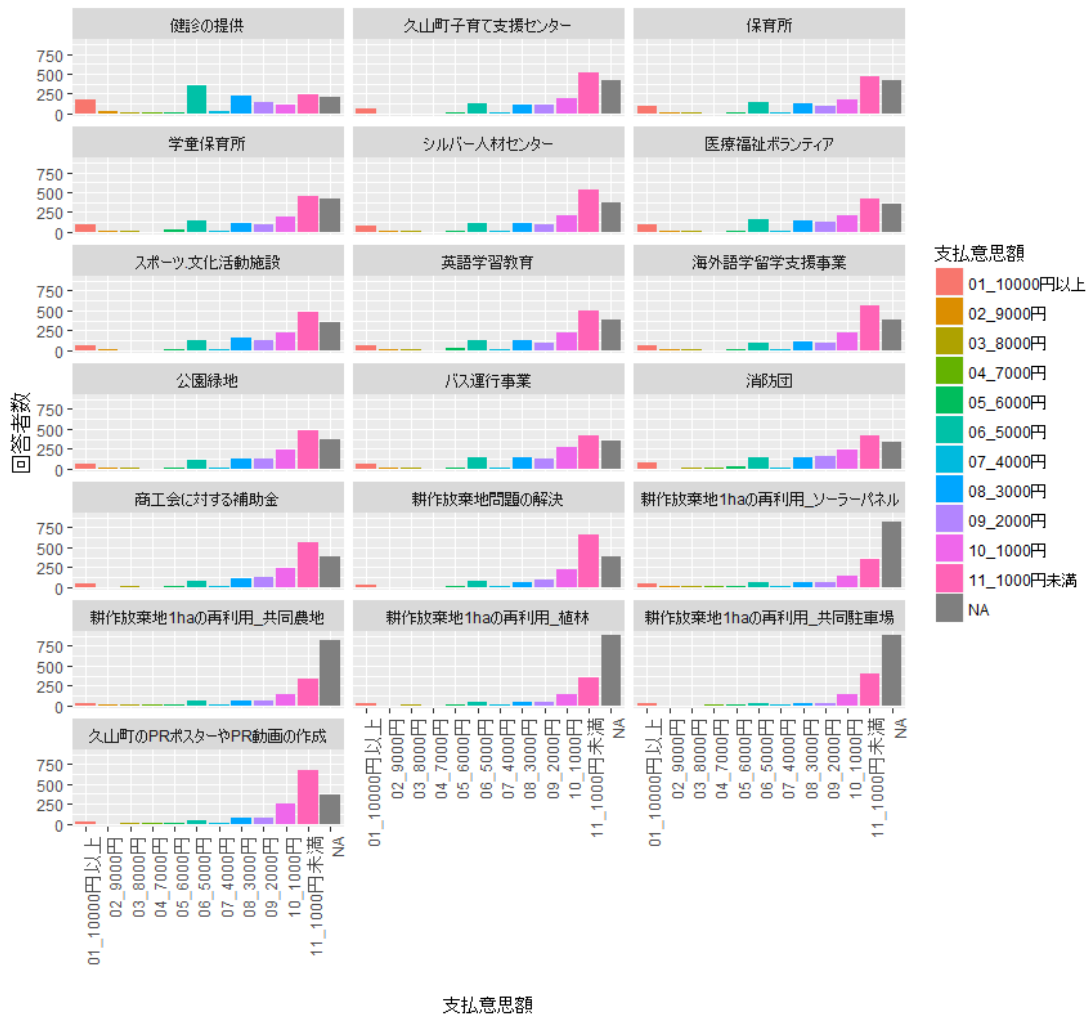


図 50 支払意思額の度数分布

表 1 各支払意思額に関する質問回答結果

設問文	選択肢											NA	総計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
健診の受診	167	26	13	8	17	358	21	229	142	111	242	209	1543
久山町子育て支援センター（木子里）の開所日が半分に減少	68	3	2	1	17	121	5	105	108	193	510	410	1543
保育所入所定員人数が1割減少	88	6	4	3	18	136	7	120	95	175	467	424	1543
居住地区の学童保育所施設の閉鎖	90	6	6	2	20	144	8	117	97	185	451	417	1543
シルバー人材センターの閉鎖	70	7	6	1	16	113	11	112	98	209	532	368	1543
医療福祉ボランティア員の一人の減少	100	8	9	3	14	151	5	138	126	214	421	354	1543
スポーツや文化活動実施施設の半分の減少	64	5	3	3	15	119	6	151	117	221	487	352	1543
英語学習教育（グローバル人材育成事業）の開講日が半分に減少	56	7	7	3	23	117	4	124	91	228	502	381	1543
高校生大学生を対象とした、海外語学留学支援地域の公園緑地が一つ減少	57	4	6	2	14	99	5	107	89	217	556	387	1543
地域のバス運行本数が半分に減少	58	5	6		16	106	6	122	127	242	483	372	1543
地域の消防団がなくなる	60	6	7	1	18	137	6	134	126	269	424	355	1543
商工会に対する補助金がなくなる	77	1	8	7	20	139	9	135	160	244	412	331	1543
耕作放棄地1haの損失負担	36	2	4	1	15	79	7	103	118	241	557	380	1543
耕作放棄地1haの再利用（ソーラーパネル）	30	2	1	1	12	69	4	67	88	216	662	391	1543
耕作放棄地1haの再利用（共同農地）	42	5	3	5	9	58	4	62	55	140	344	816	1543
耕作放棄地1haの再利用（共同農地）	31	2	2	2	5	53	8	60	66	147	341	826	1543
耕作放棄地1haの再利用（植林）	23		2	1	7	38	5	36	49	145	351	886	1543
耕作放棄地1haの再利用（共同駐車場）	19	1		2	3	32	3	24	32	138	403	886	1543
久山町のPRポスターやPR動画の作成	22		3	2	4	49	5	76	81	258	670	373	1543

3 支払意思額を用いた新国富の計算結果

本章では、アンケート中の支払意思額に関する回答結果を用いて計算された久山町の社会関係資本額を示す。ここで、社会関係資本額とは、以下のように算出されるものであり、町内に存在する社会関係資本を町民の嗜好に基づいて金銭価値化したものと理解できる。

$$\text{社会関係資本総額} = \text{一人あたり支払意思額平均値} \times \text{世帯数} \times \text{町内に存在する資本数}$$

ここで、町内に存在する資本数とは、各資本で異なることに注意されたい。また、今回のアンケートにおいては、「〇〇が一割失われたら、どのくらい支払っても良いですか」といったように、全体に対するある一定比率が失われた場合を想定して支払意思額を聞いている質問が多くある。このような場合においては、資本数をそのままかける必要はなく、たとえばこの例のように「一割失われたら」と聞いている場合は、回答者が答えた支払意思額は一割あたりの金銭価値に等しいということだから、資本全体の価値を計算する際には10をかけることになる。下表にて、それぞれの資本に掛け合わせた値を示す。

表 2 一人あたり支払意思額平均値×世帯数にける値

設問文	(1人あたり支払意思額平均値×世帯数)にかける値
健診の受診	1
久山町子育て支援センター（木子里）の開所日が半分に減少	2
保育所入所定員人数が1割減少	10
居住地区の学童保育所施設の閉鎖	1
シルバー人材センターの閉鎖	1
医療福祉ボランティア員の一人の減少	3.57
スポーツや文化活動実施施設の半分の減少	2
英語学習教育（グローバル人材育成事業）の開講日が半分に減少	2
高校生大学生を対象とした、海外語学留学支援事業の定数が5割減少	2.5
地域の公園緑地が一つ減少	12
地域のバス運行本数が半分に減少	2
地域の消防団がなくなる	1
商工会に対する補助金がなくなる	1
耕作放棄地1haの損失負担	0.06
耕作放棄地1haの再利用（ソーラーパネル）	0.06
耕作放棄地1haの再利用（共同農地）	0.06
耕作放棄地1haの再利用（植林）	0.06
耕作放棄地1haの再利用（共同駐車場）	0.06
久山町のPRポスターやPR動画の作成	1

以下、図を用いて町全体の社会関係資本総額の項目別内訳を示す。すべての社会資本項目を足し合わせた総額は314,954,559円であった。

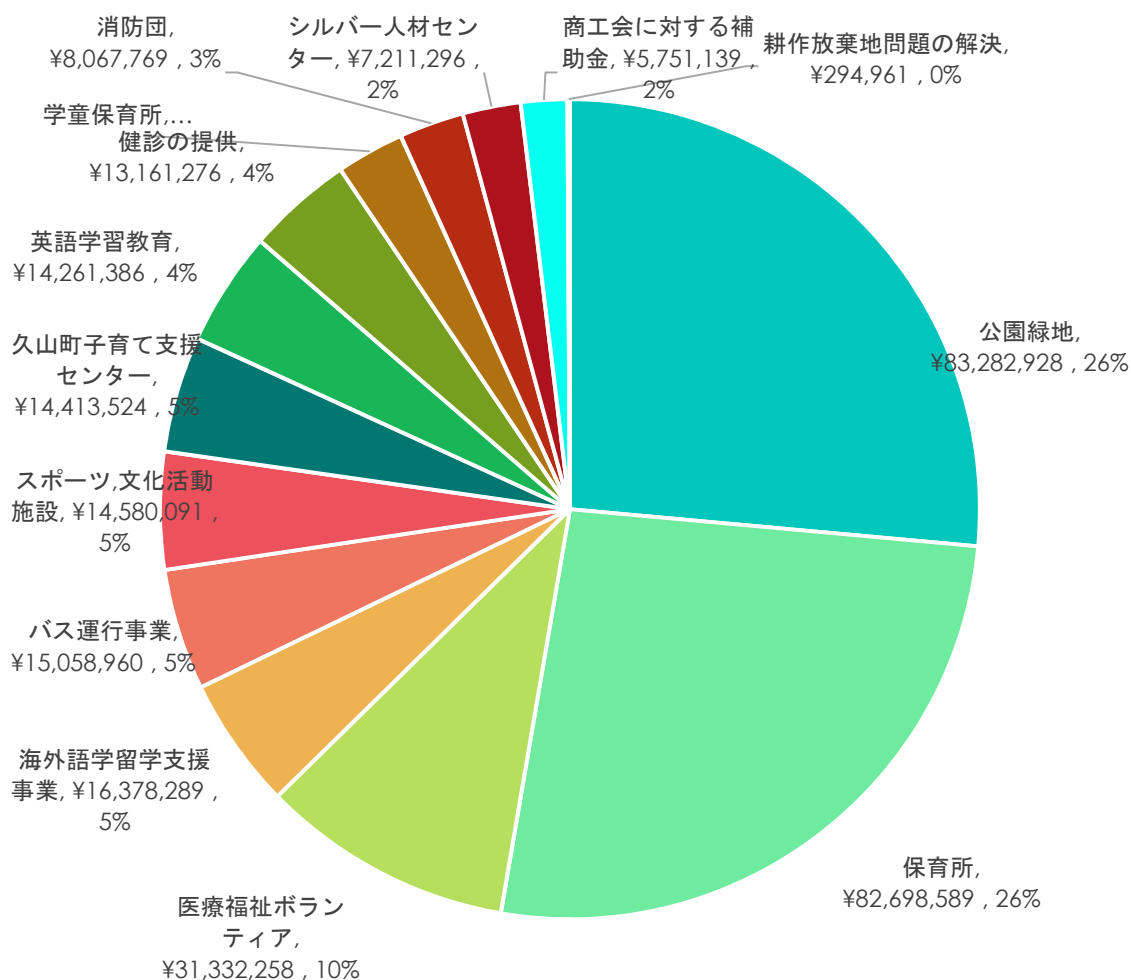


図 51 久山町の社会資本総額(全体平均値をもとに計算)

最も大きな割合を占めたのが公園・緑地であり、現在の12の公園・緑地が82,698,589円の価値を持つことが示され、これは町内の社会資本総額の約四分の一を占めることになる。次いで、ほぼ同率で大きい割合を占めたのが保育所であり、現在の町全体の定員数120人が82,698,589円の価値を持つことが示された。

下図では、各資本の一人あたり支払意思額回答平均値を示す。これは、今回実施したアンケートにおいて選ばれた支払意思額の選択肢の平均値を求めたものである。

1人あたり支払意思額（年齢別）

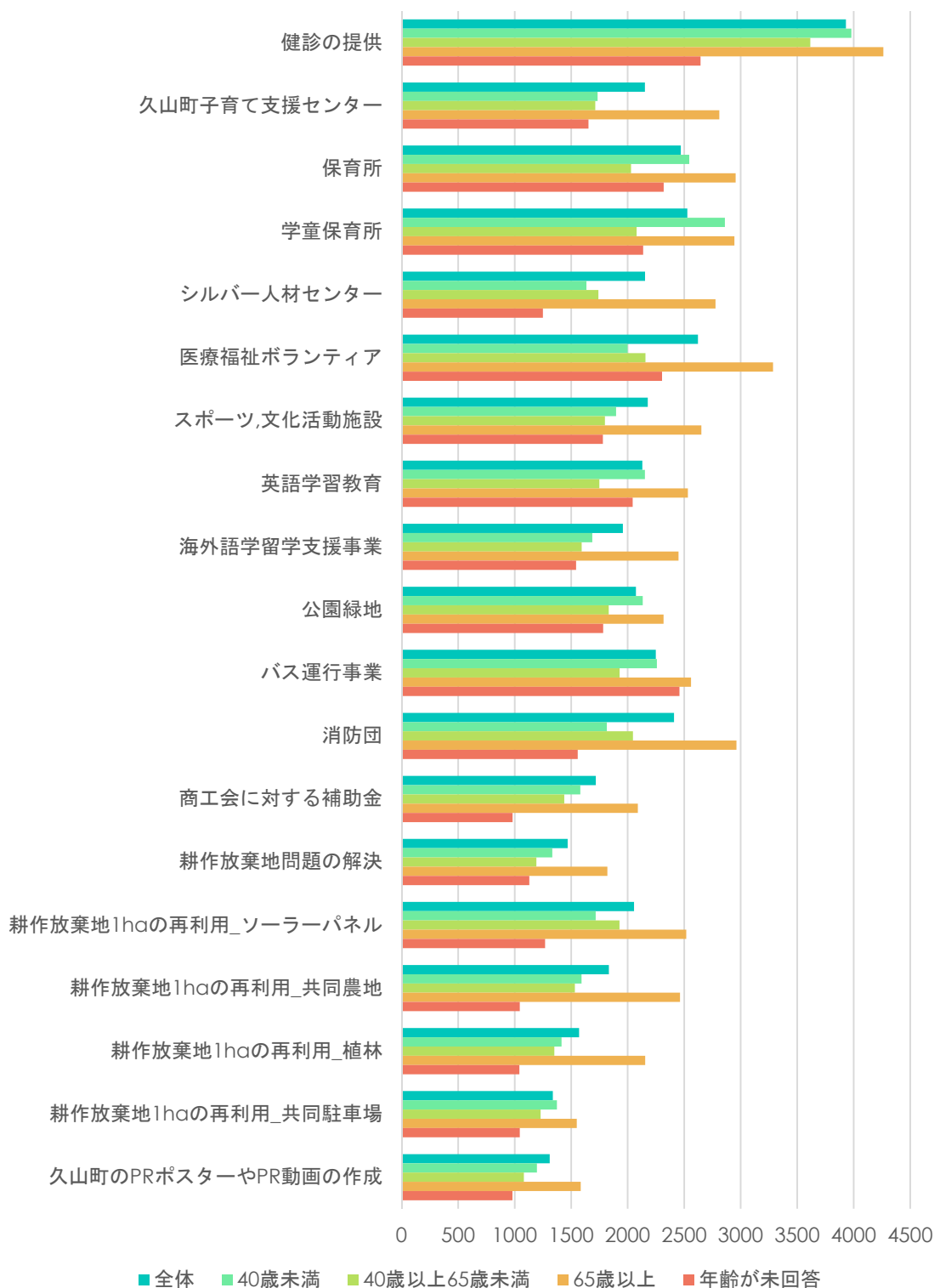


図 52 各資本の一人あたり支払意思額回答平均値（グラフ）

表 3 各資本の一人あたり支払意思額回答平均値（数値）

※括弧内は平均値の算出における回答者数を示す。

資本項目	1人あたり支払意思額（回答者数）				
	全体	40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	年齢が未回答
健診の提供	3931円(1335人)	3980円(149人)	3616円(541人)	4262円(614人)	2645円(31人)
久山町子育て支援センター	2153円(1134人)	1733円(148人)	1713円(510人)	2810円(453人)	1652円(23人)
保育所	2470円(1120人)	2545円(146人)	2030円(507人)	2955円(445人)	2318円(22人)
学童保育所	2528円(1127人)	2860円(146人)	2079円(508人)	2945円(451人)	2136円(22人)
シルバー人材センター	2154円(1176人)	1635円(148人)	1741円(512人)	2777円(494人)	1250円(22人)
医療福祉ボランティア	2621円(1190人)	2000円(148人)	2157円(512人)	3286円(507人)	2304円(23人)
スポーツ・文化活動施設	2177円(1192人)	1897円(145人)	1799円(509人)	2652円(513人)	1780円(25人)
英語学習教育	2130円(1163人)	2152円(145人)	1750円(513人)	2532円(482人)	2043円(23人)
海外語学留学支援事業	1957円(1157人)	1686円(145人)	1593円(512人)	2450円(477人)	1543円(23人)
公園緑地	2073円(1172人)	2134円(146人)	1832円(510人)	2317円(493人)	1783円(23人)
バス運行事業	2249円(1189人)	2259円(145人)	1929円(513人)	2560円(507人)	2458円(24人)
消防団	2410円(1213人)	1815円(146人)	2046円(509人)	2962円(532人)	1558円(26人)
商工会に対する補助金	1718円(1164人)	1580円(143人)	1439円(509人)	2090円(486人)	981円(26人)
耕作放棄地問題の解決	1468円(1153人)	1332円(143人)	1192円(505人)	1820円(478人)	1130円(27人)
耕作放棄地1haの再利用_ソーラーパネル	2056円(728人)	1716円(125人)	1927円(372人)	2518円(218人)	1269円(13人)
耕作放棄地1haの再利用_共同農地	1833円(717人)	1592円(120人)	1532円(356人)	2463円(230人)	1045円(11人)
耕作放棄地1haの再利用_植林	1570円(657人)	1414円(122人)	1351円(349人)	2155円(174人)	1042円(12人)
耕作放棄地1haの再利用_共同駐車場	1337円(657人)	1374円(123人)	1229円(350人)	1549円(173人)	1045円(11人)
久山町のPRポスターやPR動画の作成	1309円(1171人)	1196円(140人)	1082円(503人)	1584円(503人)	980円(25人)

上図から明らかなように、健診に対する支払意思額が3,931円と飛びぬけて高い。次いで高かったのは医療福祉ボランティア、学童保育所、保育所、消防団であった。このことから、一人あたり支払意思額の回答平均値においては、健康や医療・生命、育児にかかわる資本への支払意思額が高いことがわかった。

次に、下図に、新事業への支払意思総額を示す。ここで、新事業とは、実際には行われていないものの、アンケート上でこれら事業をおこなうとしたらどの程度の額を支払っても良いかを聞いたものであり、実際にはまだ行われていない事業である。そのため、さきほど紹介した社会資本額と同じアンケートの支払意思額に関する質問結果を用いているものの、さきほど紹介した社会資本額のグラフとは分けて説明することにする。

新事業への支払意思総額

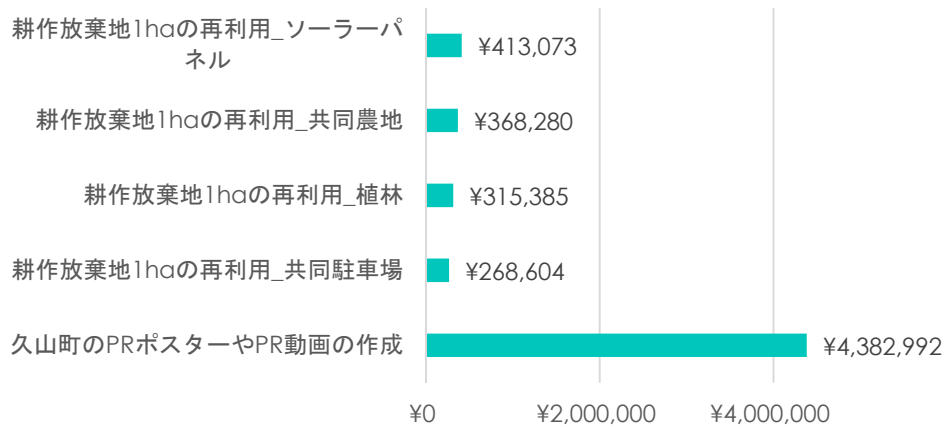


図 53 新事業への支払意思額合計

上図からわかるように、耕作放棄地関連の支払意思総額は久山町のPR作成よりも低く評価されている。ただし、さきほどの図 52 各資本の一人あたり支払意思額回答平均値図 52 からわかるように、一人あたりの支払意思額回答平均値はPR作成が最も低い。これは、冒頭で述べたように支払総額を計算する際は、各資本に対応した数をかけるためである。例えば耕作放棄地の場合には実際の久山町の耕作放棄地面積に一人あたり支払意思額平均値と世帯数をかけることによって求められるが、現在の久山町の耕作放棄地面積は0.06haと非常に小さいため、耕作放棄地に関する事業を仮に行ったとしても得られる金銭的価値はわずかであるといえる。

(参考) 年齢別の支払意思額平均値をもとにした社会資本額内訳

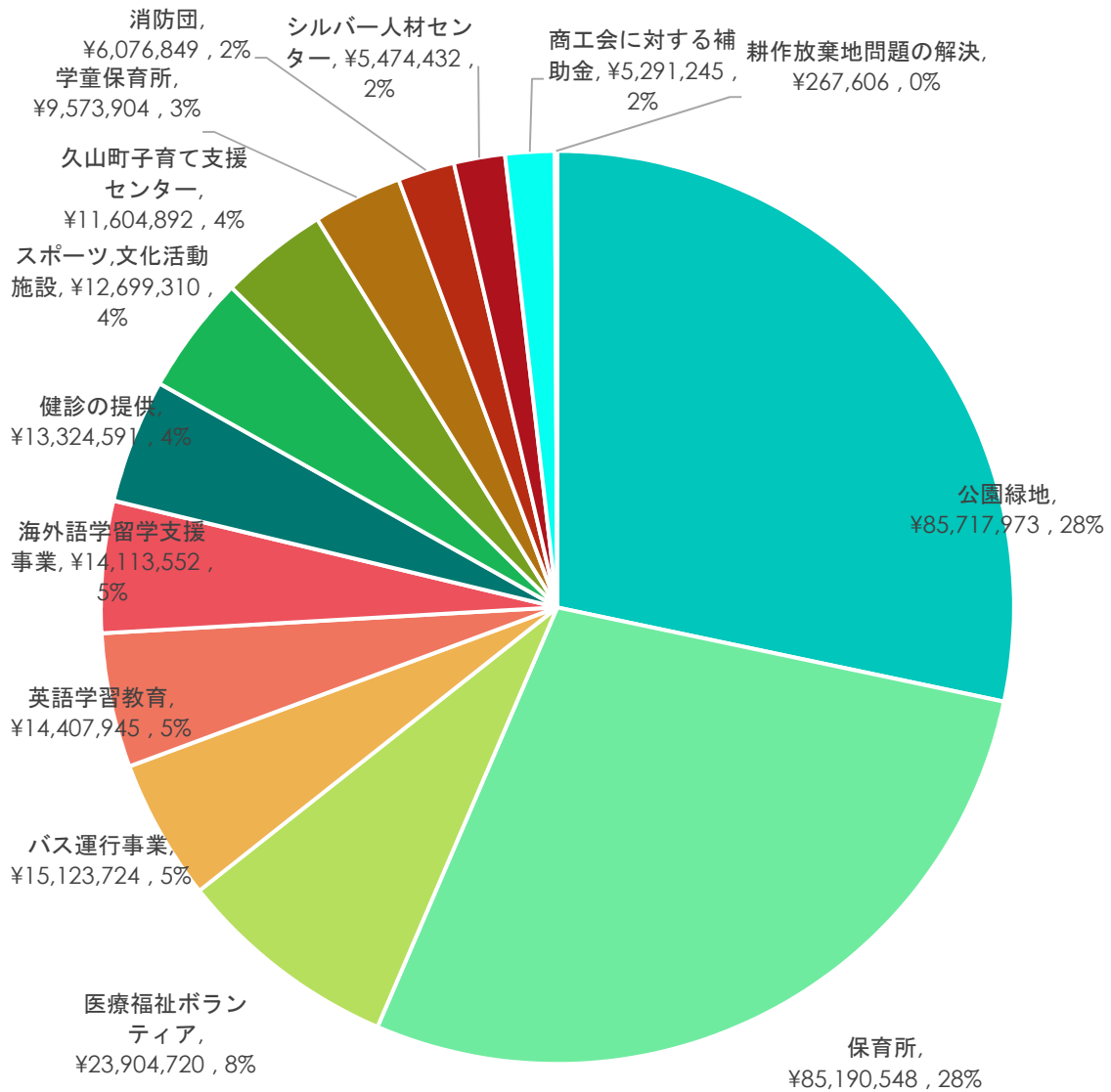


図 54 社会資本額 (40歳未満の支払意思額平均値をもとに計算)

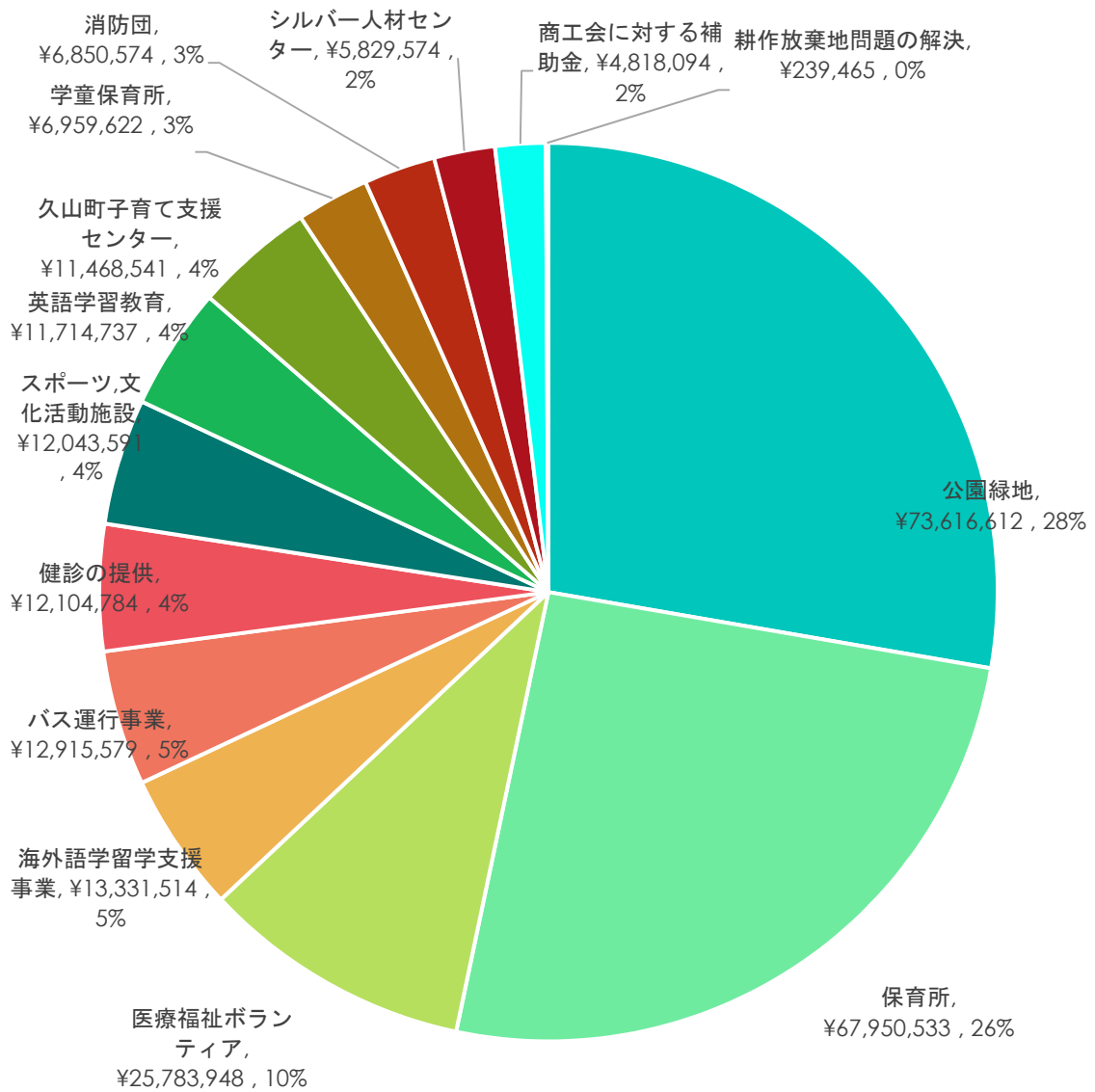


図 55 社会資本額 (40 歳以上 65 歳未満の支払意思額平均値をもとに計算)

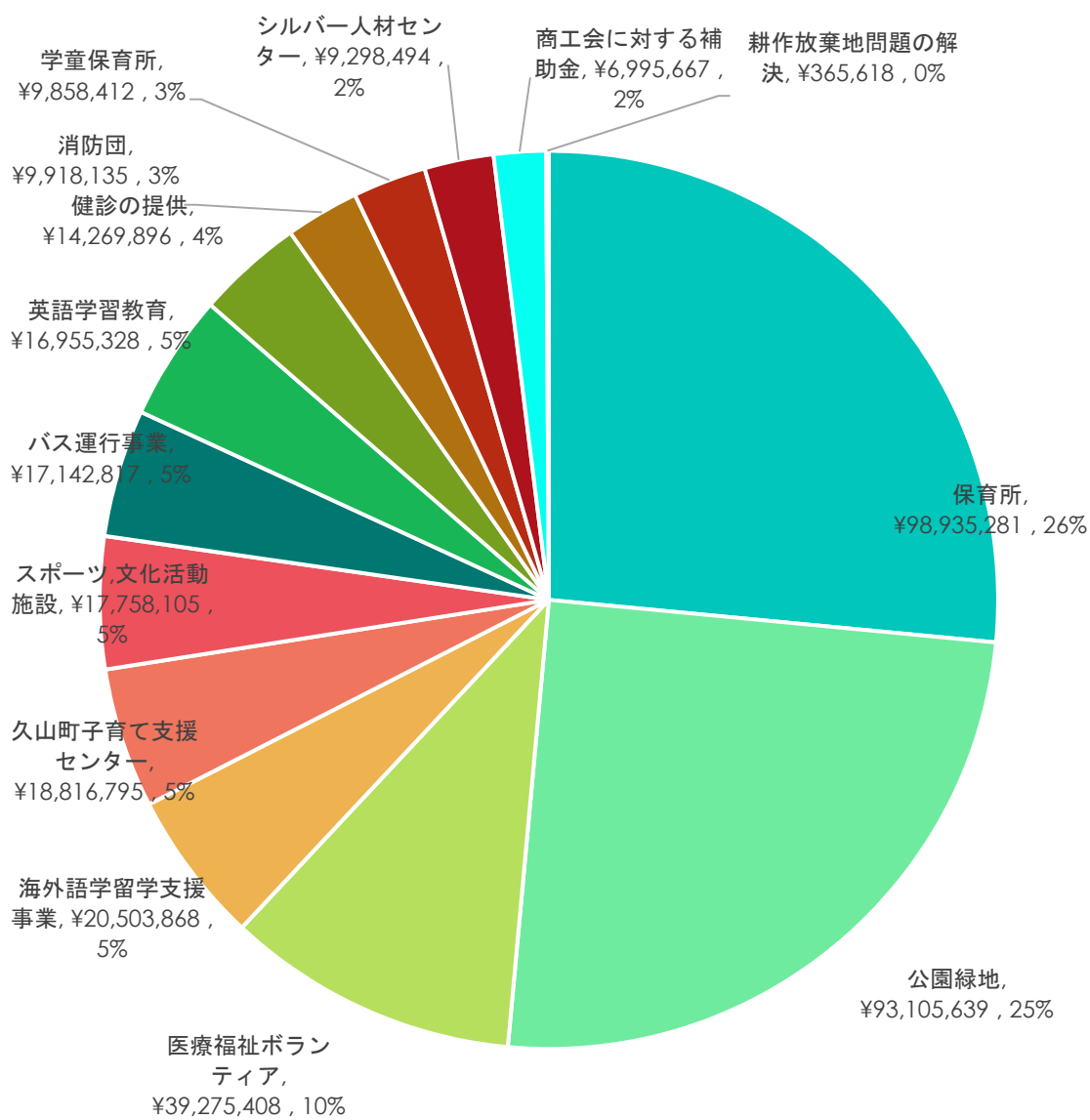


図 56 社会資本額 (65 歳以上の支払意思額平均値をもとに計算)

4. 費用対効果比分析

第三章で計算した社会資本額を項目ごとに予算額で割ることによって、費用対効果の比を計算した。下表にて、費用対効果比の結果一覧を示す。

表 4 費用対効果比

久山町社会資本	H29年度予算額 (千円)	社会資本額(千円)	社会資本額/予算額
健診の提供	¥62,649	¥13,161	0.21
子育て支援センター	¥8,070	¥14,414	1.79
公立保育所	¥134,390	¥82,699	0.62
学童保育所	¥11,067	¥8,462	0.76
シルバー人材センター	¥10,530	¥7,211	0.68
医療福祉ボランティア	¥7,659	¥31,332	4.09
文化施設・スポーツ施設	¥77,582	¥14,580	0.19
英語学習	¥20,000	¥14,261	0.71
海外語学留学支援	¥1,500	¥16,378	10.92
都市公園	¥1,900	¥83,283	43.83
バス運行事業	¥89,423	¥15,059	0.17
消防団	¥54,312	¥8,068	0.15
商工会	¥4,100	¥5,751	1.40
耕作放棄地	¥39	¥295	7.56

